魏晋南北朝における華南(湖南省・江西省)墳墓の編年的分析

戴 俊 英

はじめに

魏晋南北朝期における華南墳墓の編年的分析を行う際の諸指標を、先行諸研究の成果をふまえなが ら、整理することが課題である。それは、当該諸墳墓の特徴とそれらの歴史的意味を明らかにするた めの基本的かつ必須の作業である。

紙幅の関係で、本稿は、華南のなかでも湖南省と江西省の地域を対象とし、浙江省と福建省については稿を改める。

ー、華南墳墓における墳墓編年研究の現状と課題

華南は、南京以南の長江下流域(浙江・福建)と、武漢以南の長江中流域(湖南・江西)とに分け て考えることが出来る。従来、中国の考古学者は各自の個人的関心視角から華南の墓葬について検討 してきた。まず、それらの報告について簡単に紹介する。

1. 先行研究者による華南墳墓の編年

① 葉驍軍氏の「五期説」(葉 1994):墳墓の形状・副葬品の種類・器物(副葬品)の器種構成を基に中国南部の墳墓群を長江中下流域・閩広地域・西南地域に三分し、それぞれの地域に見られる特徴を指摘している。ここでは、長江中・下流域に関するものを取り上げる。なお、長江中・下流域とは言うものの、取り上げられるのは、江蘇と浙江の資料が中心であり、湖南・湖北・江西についての言及は参考程度に留まっている〔文献1〕。

長江中・下流域における墓葬の画期

第一期:後漢末から孫呉の初め(3世紀の初頭から中葉まで)

孫呉の黄武六年(277年)の銘がある地券が、武昌の墳墓から出土し、それが年代決定の決め手 となっている。

第二期:孫呉の中期以降、東晋の初め(3世紀中葉から4世紀初頭まで)

南京の墳墓から出土した孫呉の赤烏十四年(251年)銘をもつ青磁製の"虎子"を上限とし、南京の象坊村で出土した東晋の太寧二年(319年)の紀年を有する磚を下限とする。この外にも孫呉の墳墓で甘露元年(265年)銘のある青磁灯の出土例があり、また、これらとは別の孫呉墓2基と西晋墓4基からも紀年磚・鉛製地券が出土している。

(233) 124

第三期:東晋期(4世紀)

南京老虎山顔氏象山王氏墓群を典型とする。

第四期:劉宋·南斉期(5世紀)

紀年の入った磚が多く出土している。特に、武漢出土の資料は重要な時期区分要素である。第五期:蕭梁・陳期(6世紀)

武漢の出土資料が重要な時期区分要素である。

② 馮普仁氏の「二期説」(馮 1985):馮普仁氏は墓葬の類型と流行の年代及び規模によって南朝の 墳墓を二期に区分している〔文献2〕。

第一期:劉宋·南斉期(5世紀)

湖南の長沙地区のものは墓壁が弧を描いて凸出した("弧壁")凸字形墓で、福建・浙江地区では 刀形墓が主であるが、江西地区では長方形磚室墓が盛んに築かれている。墓磚の側面には網銭紋・ 巻草紋・同心円紋・菱形紋・連花紋・魚紋などの紋様が施されている。

第二期:蕭梁·陳期(6世紀)

福建地区は刀形墓から凸字形墓に変わる。浙江地区の刀形墓はさらに複雑になって、棺室附きの 刀形墓と前・後室附きの刀形墓が出現した。湖南・江西の両地区では長方形墓が引き続き造られて いるが、墓室内に設けられた磚柱は以前より多くなっている。墓磚は銅銭・同心円・方格紋など紋 様磚の外に、連花・忍冬・寶相花・人物像・四神・飛天・怪獣などを描いた画像磚が盛んに用いら れている。

第一期:後漢から孫呉まで

第二期:西晋から東晋の初め

第三期:東晋の中・後期

- 第四期:南朝時代
 - 第一期:大型墓には、甬道が附いた横前堂後室墓がよく見られる。これは、前堂に一つもしくは 二つの耳室が附いたものである。墓頂は券頂(アーチ型墓頂= "弧頂")が大勢を占めるが、 穹窿頂(ドーム型)も出現している。前堂に祭台を、後室に棺床を築く墳墓もある。排水溝は あまり無い。中型墓は短い甬道が附いた単室券頂墓の類型に属し、凸形単室墓と刀形単室墓と から成る。長方形券頂の双室並列墓もある。墓頂は券頂が多い。墓室に、祭台・棺床・排水溝 などの内部施設が見られる例は皆無に近い。小型墓は甬道の附かない長方形単室墓である。墓 頂は券頂と疊渋頂があり、祭台・棺床・排水溝は見られない。

- 第二期:全て中型墓で、短い甬道が附いた単室墓、即ち凸形単室墓であり、墓壁は外に凸の弧壁 である。墓頂は券頂が多い。墓室に棺床が築かれたものは少ない。排水施設は方形の排水穴で ある。
- 第三期:凸形単室券頂墓が主であるが、中型墓でも小ぶりのものと、小型墓には刀形単室墓と甬 道の無い長方形単室墓が見られる。墓壁は外に凸の弧壁である。磚の祭台・棺床・排水溝など が墓室内に盛んに築かれるようになる。
- 第四期:すべて大・中型墓であり、凸形単室・券頂が主流である。墓壁は外に凸の弧壁で、墓室 には棺床と排水溝が築かれ、劉宋になると墓壁に小龕と直櫺窓が築かれるようになる。墓磚は 連辮紋・網格紋・纏枝花葉紋などの紋様磚である。
- ④ 楊泓氏は、湖南の長沙地区で1952-1958年に発掘された西晋墓について述べている〔文献4〕。
 楊氏は墓群を大型と小型に二分しているが、それらの編年はなされていない。
- ⑤ 姚仲源氏は浙江にある六朝の古墓について概説している。その際、築造年次によって墳墓を四つ の時期に区分した〔文献 5〕。

第一期:孫呉から西晋

- 第二期:東晋
- 第三期:劉宋
- 第四期:南斉から陳
 - 第一期:墳墓の類型には凸字形券頂磚槨墓が多く、また少数ではあるが、片耳室附きの凸字形券 頂墓や刀形券頂墓もある。さらに特異なものとして、安吉三官郷の"干"字形攅尖頂磚槨墓と 杭州金門檻にある前・中・後三室の前・中室間に両耳室を附した券頂磚槨墓が、それぞれ1基 ある。副葬品は多く玄室の前半部と甬道に置かれ、磁器が中心である。内訳は、壷・罐・碗・ 盆・耳杯・燻炉・硯台・釜・"水井"・豚檻などである。
 - 第二期:全体として墳墓は西晋より小さくなり、凸字形券頂磚墓が主となっている。しかしなが ら、仔細に見ると地域間において顕著な差異が認められる。黄岩秀嶺水庫において長方形券頂 磚墓が墳墓群の半分以上を占め、金華竹馬館・瑞安桐溪蘆蒲で見られるものがすべて刀形券頂 磚墓であるのに対して、諸曁牌頭においては玄室に棺床が築かれたものが出現しているのであ る。排水路をもつものは少数で、墓壁には盛んに龕が築かれている。副葬品は、壷・罐・碗・ 盆・耳杯・燻炉・硯台・"虎子"などである。
 - 第三期:墳墓類型の分布から、地域間に著しい差異が看て取れる。瑞安桐溪蘆蒲において刀形券 頂磚墓が7基、黄岩秀嶺水庫で長方形券頂磚墓が認められるが、両地域ともに凸字形券頂磚墓 は見当たらない。また、玄室の後壁には龕が築かれるようになる。副葬品は、壷・罐・碗・皿

である。

- 第四期:刀形券頂磚墓が2基、長方形竪穴式磚墓が1基、凸字形券頂磚墓が1基ある。それ以外 はすべて長方形券頂磚墓である。その墓底は細長く、墓頂は低い。副葬品は、壷・罐・碗・盤・ 鉢である。
- ⑥ 曾凡氏は福建六朝磚室墓の形態について論じている〔文献6〕。

曾氏は福建六朝磚室墓をA・B・Cの三つに分類した。即ち、A型:長方形単室磚墓。

- B型:甬道が附いた長方形単室磚墓。C型:多室磚墓。但し、A・B・Cの何れについても編年は なされていない。
- ⑦ 林忠干氏は墳墓の築造年次によって福建の六朝墓を論じている〔文献7〕。

西晋墓:大型墓が2基あり、そのうち1基は双凸形墓で、もう1基は刀形墓である。中・小型墓 は全て刀形墓か凸字形墓である。玄室に祭台は築かれていない。墓室の後壁と左右の側壁に方 形の燈龕が設けられている墓もある。墓磚の両面に蝉形・蕉葉・網格・縄紋、側面に銭・蕉葉・ 米字・網格・同心円などの幾何紋様がある。副葬品は10点くらいあり、青磁製品が主である。 東晋墓:大型墓はなく、すべて中・小型墓である。墳墓の類型は凸字形・刀形・長方形である。 玄室の前に祭台を築いており、墓壁には小龕が造られている。墓磚の表面は縄蓆紋と網格紋で、 側面は銭・蕉葉・米字・同心円・獣面・魚龍などの紋様で飾られている。

- 南朝墓:大型墓が3基あり、すべて十字形墓である。中・小型墓には刀形墓が多い。次に凸字形 墓が多く、長方形墓と多室墓は少ない。墓壁を固めて弧頂を支えるために、墓室の四隅に磚で 柱を築いている。甬道から玄室の後半部までは階段状で徐々に高まり、最高部位が棺台となっ て、自然に排水できるようになっている。墓室の前半部に祭台は築かれていない。墓磚の側面 には蓮花・纏枝・巻草紋、青龍・白虎・朱雀・玄武の四神、僧侶・忍冬・宝相・宝瓶・飛天・ 飛鶴など仏教説話を想起させる紋様で飾られている。
- 2. 先行研究における問題点
- ① 葉驍軍氏は、規模によって墳墓を分類している。墳墓の規模は身分・地位など階層による較差を 表し得るが、経年変化の段階や地域間の差異が反映されているとは必ずしも言えず、この分類方法 では不十分であると思われる。また閩広地区の墳墓については、事例そのものが省略されているた め、具体的なことは一切わからない。
- ② 馮普仁氏は、南朝磚室墓の凸字形墓を規模によって四型式に区分しているが、規模のみによって 墳墓階梯を決定していることそれ自体に問題があるのは①と同様である。また、凸字形磚室墓にお

ける直壁から弧壁への変化や墓磚紋様の違いによる編年は十分とは言えない。全体として実例に乏しく、六朝墳墓の時代性や地域性を総合的に検討しているとは言い難い。

- ④ 楊泓氏は、1952-1958年に発掘された湖南長沙地区の西晋墓について述べているが、華南地区の 南朝墳墓における内部構成についての全体的な見通し・具体例に基づいた構成要素の確定・時間的 変化の動向・地域的多様性などについて、あまり研究が進んでいるとは言えない。
- ⑤ 姚仲源氏は、浙江にある六朝の古墓について概説しており、林忠干氏は福建六朝墓を論じている。 その際、築造年次によって墳墓の時期を区分・特定しているが、類型・編年ともに明らかになって いない。
- ⑥ 曾凡氏は、福建六朝磚室墓をA・B・Cに三分し、単室墓と多室墓に類別した。双室墓を多室墓 に組み込んでいるのは煩雑で不適切な分類であると思われる。

二、筆者における華南墳墓の編年

墳墓はさまざまな形態に変化して行くが、どのような段階を踏んでどのように変化して来たか、地 域が異なることによる形態・構造上の特徴が何で、時間的変化の指標となるものがどのような要素で あるのか、個々の性格と相互の繋がり方を基に墳墓・葬制の全体像を把握し、その上で当時における 社会の実像と人々の意識・行為を探り、変化の持つ意味を検討すべきであると考える。

筆者は先行研究者が発掘、調査した報告や資料を整理、分析し、墓室の平面類型・墓頂の形状・壁体の様相を指標として、魏晋南北朝の華南墳墓を地域・時期ともに細分して考察した。なお、本稿の データを整理する際に用いた中国の省は現在の行政区画であり、当時の地域区分とは異なっているの で、古代における政治勢力の活動範囲や文化的な共通性を指標として各省をより小さな地域に区分し た上で、時期もまた細分して検討する。

(一) 湖南省

墓室の平面類型と内部構造を指標として、これまでに発掘された墳墓群を、長沙及びその周辺地域 とそれ以外の地域とに二分した。

1. 湖南省の長沙及びその周辺地域

この地域には総計49基の墳墓がある(附表の湖南省1-49)。西晋の太康八年(287年)から陳末(589 年)までの時期を通じて、多室・双室・単室を問わず様々な類型の墳墓があるが、それらは全て横穴 式磚室墓か竪穴式土坑墓である。これらを、墓室の平面類型と内部構造によって、二期に区分した。 一期:西晋の太康八年(287年)から東晋(420年)まで

二期:劉宋(421年)から陳末(589年)まで

一期:西晋の太康八年(287年)から東晋(420年)まで

この時期のものは全部で33基である〈附表の湖南省1-33〉。墳墓類型の在り方は多様で、多室・ 双室・単室のすべてが揃っている。その内訳は、甬道附きの横穴式磚室墓が27基で最も多く、他に は、斜めに下がった羨道(斜坡羨道)を有する甬道附き横穴式磚室墓の安郷西晋宣成公劉弘墓〔文 献8〕〈附表の湖南省3〉、階段状の羨道を有する甬道附き横穴式磚室墓の長沙桂花園東晋昇平五年 墓(361年)〔文献9〕〈附表の湖南省30〉、甬道の附かない横穴式磚室墓の長沙南郊野坡墓3〔文献10〕 〈附表の湖南省33〉が、それぞれ1基ずつある。また、竪穴式磚室墓は、長沙晋墓(M18・M19・ M20)〔文献11〕〈附表の湖南省27-29〉の3基だけである。墓壁は弧壁のものが多く、23基であるが、 直壁墓も9基ある。弧頂・穹窿頂・前穹後穹などの墓頂があり、そのうち弧頂が11基、穹窿頂が3 基、前穹後穹が3基、残りが1基、不明は15基である。どれも紋様磚を用いた装飾墓である。

多室墓が2基、双室墓が3基、単室墓が28基で、単室墓が一期における墳墓の総数において圧倒 的多数を占めている。多室墓には、弧壁方凸形単室に両耳室が附いている長沙晋墓(M22)〔文献11〕 〈附表の湖南省8〉と弧壁方凸形単室の甬道に両耳室が附いている長沙晋墓(M24)〔文献11〕〈附表 の湖南省9〉があり、双室墓には、弧壁方双凸形室縦列の長沙晋墓(M23)〔文献11〕〈附表の湖南省 10〉、長方形双室縦列の長沙晋墓(M25)〔文献11〕〈附表の湖南省11〉、弧壁長方双凸形室縦列の長沙 晋墓(M26)〔文献11〕〈附表の湖南省12〉がある。単室墓28基のうち弧壁長方凸形単室が18基、長方 凸形単室が4基、弧壁方凸形単室が1基、長方形単室が4基、長方台形単室が1基である。多室・ 双室・単室墓ともに玄室は平面が長方形で、しかも細長いものが多い。それらはともに、地面に大 きな竪穴を掘ってから磚で甬道・玄室・耳室を築いており、斜めに下がった長大な羨道を持ち、横 砌式で築かれた甬道には、木/石門は設けられていない。

甬道は大体1-2mであるが、2m以上のものも3基あり、最長のものは2.5mになる。また、1m 以下のものは1基だけで、0.7mである。磚で棺床を築いたものが15基あり、棺床の幅が墓室と同 じものと違うものとに分けられる。磚で祭台を設けている例は見られない。排水溝が築かれている ものが5基あり、甬道または墓室の壁面に長方形の龕が築かれているものが13基ある。甬道の外に 磚で擋土墻が築かれている例に株洲東晋墓〔文献12〕 <附表の湖南省32> がある。

墓磚は銘文が入ったものと幾何・銅銭の紋様で飾られたものがある。瀏陽姚家園西晋太康八年墓

M1 (287年) 〔文献13〕 〈附表の湖南省1〉の墓磚には"太康八年起"の銘文を持つものと三角・折角・ 十字・X形の幾何紋や円弧・銅銭・車輪の紋様を持つものとがある。長沙西晋永寧二年墓M21 (302年) 〔文献11〕 〈附表の湖南省2〉の墓磚には"永寧二年五月十日作"の銘文がある。長沙東晋寧康三年劉 氏女墓M2 (375年)〔文献11〕 〈附表の湖南省31〉の墓磚には"寧康三年劉氏女墓"の銘文がある。長沙 南郊黄泥塘墓3〔文献10〕 〈附表の湖南省5〉では墓磚の側面に幾何・銅銭の紋様が描かれている。規 模としての平均値は、長さ3.87m・幅1.84m・高さ2.6mで、体積18.51㎡である。

② 二期:劉宋(421年)から陳末(589年)まで

この時期のものは16基ある〈附表の湖南省34-49〉。葬制の様相に変化が見られる。墳墓類型は すべて単室墓である。階段状の羨道を有する甬道附き横穴式磚室墓が3基、甬道附きの横穴式磚室 墓が6基、甬道の附かない横穴式磚室墓が5基、竪穴式土坑墓が3基ある。墓壁は、弧壁のものが 8基あるのに対して直壁は7基で、弧壁墓と直壁墓が半々になっている。墓頂は全て弧頂である。 何れも紋様磚を用いた装飾墓である。

単室墓は弧長方凸形単室が8基、長方形単室が7基、長方凸形単室に後龕が附いたものが1基あ る。玄室は平面が長方形で細いものが多い。甬道・玄室・耳室は、地面に大きな竪穴を掘ってから、 磚で築かれたものである。甬道は横砌式で築かれており、木/石門は設けられていない。甬道の外 に磚で擋土墻を設けている例も見られない。甬道は大体1-2mで、2m以上のものがあるのは3 基、最長は2.2mになり、1m以下のものは1例のみで0.6mである。また、棺床も引き続き築かれ ており、7基にあり、幅は墓室の幅とは異なっている。二期に入って祭台が出現しており、長沙黄 土嶺六朝墓〔文献14〕 <附表の湖南省39〉では、棺床の前後に1つずつ築かれている。排水溝が築か れている墳墓は3基ある。

注目すべきは、多数の長方龕が玄室の壁面に密集して築かれる("窓格")ようになったことであ る。長沙斉永元元年墓(M1)〔文献15〕〈附表の湖南省36〉と長沙斉永元元年劉氏墓(M2)〔文献15〕〈附 表の湖南省37〉では玄室の両側壁に長方龕が3つずつ築かれ、後壁に24の長方龕が密集して築かれ ている。長沙南朝墓(M3)〔文献11〕〈附表の湖南省40〉では後壁に26の長方龕が集まった"窓格" が築かれ、長沙南朝墓(M4)〔文献11〕〈附表の湖南省41〉では後壁に9つの長方龕が集まった"窓格" が築かれている。長沙黄土嶺六朝墓では側壁に長方龕が3つずつ築かれ、後壁に長方龕が1つ設け られている。

墓磚の紋様は一期の幾何・銅銭から纏枝巻葉花草に変わった。長沙斉永明十一年墓M13(493年) 〔^{文献11}] ⟨附表の湖南省35⟩ の墓磚には"斉永明十一年八月十日桂"の銘文がある。長沙斉永元元 年劉氏墓M2(499年)の墓磚には"斉永元元年己卯劉氏墓"の銘文と纏枝巻葉花草の紋様がある。 長沙黄土嶺六朝墓では墓磚の四側面は連珠紋で飾られており、真中に"八出の蓮華"と巻葉花草が 描かれていた。規模の平均値は、長さ3.77m、幅1.39m、高さ4.12m、体積21.59m³である。

2. 湖南省の長沙以外の地域

この地域には総計64基の墳墓があり〈附表の湖南省50-113〉、孫呉の初め(222年)から南朝の陳 末(589年)までの時期を通じて、双室・単室の類型に属する横穴式の磚室墓もしくは竪穴式磚室墓 である。これらを、墓室の平面類型と内部構造によって、さらに二期に区分した。

一期:孫呉(222年)から東晋(420年)まで

二期:蕭梁の天監四年(505年)から陳末(589年)まで

① 一期:孫呉(222年)から東晋(420年)まで

この時期のものは50基である〈附表の湖南省50-99〉。墳墓類型は双室か単室である。様々な型 式の墳墓があるが、内訳は階段状の羨道を有する甬道附き横穴式磚室墓が2基、甬道附きの横穴式 磚室墓が16基、甬道の附かない横穴式磚室墓が24基、竪穴式磚室墓が8基である。すべて直壁墓で ある。槨板平頂の2基と無磚頂の2基以外はすべて弧頂である。墳墓は全て紋様磚を用いた装飾墓 である。

双室墓は長方形双単室並列墓で、耒陽城関西晋墓(M116)〔文献16〕〈附表の湖南省55〉と資興晋 墓(M545)〔文献17〕〈附表の湖南省62〉の2基のみである。単室墓48基のうち、長方形単室墓が29基、 長方凸形単室墓が17基、長方台形単室墓が2基である。一期における墳墓総数の圧倒的な部分を単 室墓が占めている。双室・単室墓ともに玄室は平面が細長方形であるものが多い。それらは、地面 に大きな竪穴を掘ってから煉瓦で甬道・玄室・耳室を築いたもので、斜めに下がった羨道を持たず、 甬道は横砌式で木/石門は設けられておらず、甬道の外に煉瓦の擋土墻も築かれていない。

甬道は3基について判明しているのみであるが、全て2m以下である。それぞれ1.1m、1.1m、 1.2mである。磚製の棺台と棺床に似た棺架を有する墳墓が4基あり、棺床の幅は墓室と同じである。 煉瓦で祭台を設けている例は、耒陽城関三国孫呉墓(M169)〔文献16〕〈附表の湖南省53〉の1基し かない。排水溝が築かれたものは、耒陽城関東晋墓(M236・M243)〔文献16〕〈附表の湖南省94・95〉 の2基である。墓室の側壁に長方形龕が2つずつ築かれているものは、資興晋墓(M458)〔文献17〕〈附 表の湖南省69〉の1基だけである。墓室の側壁と後壁の周りに磚壁墻台が築かれているものが1基、 耒陽城関東晋墓(M282)〔文献16〕〈附表の湖南省85〉である。

墓磚は幾何・葉・網を主とする紋様であり、縄蓆紋もある。耒陽城関三国孫呉墓(M62) [文献16] 〈附表の湖南省51〉には網格・魚・菱形・花などの紋様磚があり、耒陽城関西晋墓(M234) [文献16] 〈附表の湖南省60〉の墓磚には葉脈紋が、耒陽城関東晋墓M110 (380年) [文献16] 〈附表の湖南省84〉 の墓磚には"泰元五年"の銘文が入っている。耒陽城関東晋墓(M168) [文献16] 〈附表の湖南省96〉 では網・葉脈紋様で、耒陽城関東晋墓(M243) [文献16] 〈附表の湖南省97〉では格・葉脈紋様である。 資興の22基の晋墓 [文献17] 〈附表の湖南省62-83〉に用いられている紋様磚はすべて縄蓆紋である。 この時期の規模としての平均値は、長さ3.10m、幅1.0m、高さ0.76m、体積2.36m³である。 二期:蕭梁の天監四年(505年)から陳末(589年)まで

この時期のものは、14基ある〈附表の湖南省100-113〉。葬制の様相が変化してきている。墳墓 類型はほぼ単室墓に統一されており、双室墓は1基だけ、長方双凸形室縦列の耒陽城関南朝墓 (M176)〔文献16〕〈附表の湖南省105〉がある。階段状の羨道を有する甬道附き横穴式磚室墓が1基、 甬道附きの横穴式磚室墓が7基、甬道が附かない横穴式磚室墓が2基、竪穴式磚室墓が2基、不明 が2である。墓頂は、直壁墓が7基ある外は全て弧頂である。墳墓はすべて紋様磚を用いた装飾墓

である。

単室墓は13基あり、そのうち長方形単室墓が5基、長方凸形単室墓が6基、長方台形単室墓が2 基で、単室墓は二期における墳墓総数の圧倒的な部分を占めている。玄室は平面が細長方形である。 それらは、地面に大きな竪穴を掘ってから、煉瓦で甬道・玄室・耳室を築いてある。甬道は横砌式 で、木/石門は設けられていない。甬道の外に煉瓦で擋土墻を設けている例も見られない。甬道は ほとんどが不明であるが、判明しているものも2基あり、それぞれ0.4と0.8mである。また、棺床 または棺架を設けるものが5基、磚製の祭台をもつものは一期より多い4基である。これらは、ど れも単室に築かれているものである。排水溝が築かれたものも3基ある。

玄室の壁面に築かれていた長方龕が密築の長方龕と磚柱へと変化したことが注目される。資興梁 普通元年墓M413 (520年)〔文献17〕 〈附表の湖南省101〉は玄室の両側壁に直欞仮窓が6つずつ築かれ、 後壁には磚柱が2つ設けられている。邵陽梁中大通二年墓M5・M6 (530年)〔文献18〕 〈附表の湖南 省102・103〉の甬道・玄室の側壁には、それぞれ13の長方龕が密築されている。即ち、"窓格"で ある。耒陽城関南朝墓 (M176) は前室先端の両隅と後室後端の両隅と前・後室の間に磚製の半柱 が築かれている。衡東城関南朝墓 (M1)〔文献19〕 〈附表の湖南省107〕の後壁両隅にも磚製の半柱が 築かれている。

資興梁天監四年墓M474(505年)〔文献17〕〈附表の湖南省100〉では玄室の四隅にある半磚幅の平 台は側壁から2つずつ墓室内に突出しており、後壁の中央には磚柱が築かれている。資興南朝墓 (M337)〔文献17〕〈附表の湖南省104〉では四隅に半磚幅の平台が2つずつ側壁から突出しており、 半磚幅の平台の上には小皿が置かれている。資興南朝墓(M388)〔文献17〕〈附表の湖南省108〉では 半磚幅の平台が2つずつ側壁から突出しており、半磚幅の平台の上には小皿が置かれている。

墓磚は一期の幾何・葉脈・網の紋様磚から素面磚に変わっている。14基のうち10基が素面磚墓で ある。資興梁天監四年墓(M474)には葉脈・幾何紋様磚がある。邵陽梁中大通二年墓M5・M6にあ るものは銘文磚と蓮華・魚・巻草・線などの紋様磚である。規模としての平均値は、長さ3.4m、 幅1.33m、高さ0.99m、体積4.48m³である。

湖南省を総括すると、西晋の太康八年(287年)から東晋(317年-420年)を経て陳末(589年) に至るまでの期間を通じて、墓室の壁面上部に長方**龕**・直櫺仮窓、特に長方**龕**("窓格")が密集し て築かれているのが湖南省の特徴である。また、甬道附きの横穴式磚室墓が主流であるが、甬道の

(241) 116

無い横穴式磚室墓もある。多室墓と双室墓から単室墓になる傾向がある。玄室はほぼ直壁で、弧頂 が主である。墓室には棺床・祭台・排水溝が設けられており、紋様磚による装飾墓である。規模は 小さい。なお、長沙地区に限っては弧壁の長方凸形単室墓が多いことが注目される。しかし、長沙 及びその周辺と長沙以外の地区に時期的な変化もある。

長沙及びその周辺地区(表1)では、一期(287年-420年)において墳墓総数の圧倒的な部分を 単室墓が占めていて、甬道附きの横穴式磚室墓が主流である。玄室は弧壁が、墓頂は弧頂が主であ る。また、甬道は1-2mで、甬道の外に煉瓦の擋土墻を築いている例が1基ある。墓室には磚製 の棺床があるが、磚製の祭台は無い。排水溝と長方形の龕が築かれている。墓磚は銘文の入ったも のと幾何・銅銭の紋様磚がある。

二期(421年-589年)には、すべて単室墓になってきた。一期には見られなかった竪穴式土坑墓 が3基ある。直壁墓も一期よりは多く、弧壁墓と直壁墓が半々になって、墓頂はすべて弧頂になっ てきた。また、一期にはあった、甬道の外に築かれた煉瓦の擋土墻を有する例は見られない。墓室 には磚製の棺床・祭台があり、排水溝も築かれている。二期に入ると、玄室の側壁には長方龕が、 後壁に密築の長方龕(即ち、"窓格")があるものが一期の長方形龕に取って代わった。墓磚の紋様 は一期の幾何・銅銭から纏枝巻葉花草に変わった。規模としての平均値は、一期は長さ3.87m、幅 1.84m、高さ2.6m、体積18.51㎡である。二期は少々大きくなって、長さ3.77m、幅1.39m、高さ 4.12m、体積21.59㎡である。

長沙以外の地区(表2)では、一期(222年-420年)において単室墓の割合が多く、50基のうち 48基ある。墳墓の形式は様々ながら、横穴式磚室墓が主であり、甬道が附くものと附かないものが あるが、すべて直壁墓である。墓頂は弧頂である。甬道に木/石門は設けられていないし、甬道の 外にも煉瓦の擋土墻は築かれていない。甬道は2m以下である。墓室に磚製の棺台または棺架があ り、磚製の祭台を設けている例が1基あり、排水溝が築かれたものも2基ある。玄室の側壁に長方 形龕が築かれている例が1基、玄室の側壁と後壁の周りに磚壁墻台が築かれているものが1基ある。 墓磚は銘文の入ったものや幾何・葉・網を主とする紋様で飾られたものがあり、縄蓆紋で飾られた ものもある。

二期(505年-589年)においては、ほぼ単室墓になってきた。一期には無かった竪穴式土坑墓も 2基ある。すべて直壁墓・弧頂である。甬道は一期より短くなっており、すべて1m以下である。 甬道には木/石門が無く、甬道の外にも磚製の擋土墙は築かれていない。棺架が5基あり、一期よ り磚製の祭台を設けるものが増えて、4基ある。排水溝が築かれたものが3基ある。玄室の壁面に 小皿が置かれた半磚幅の平台が突出しており、窓格が築かれ、前・後室の両隅と前後室の間に磚製 の半柱が築かれている。墓磚は素面磚に変わってきて、14基のうち10基は素面磚である。葉脈・幾 何・蓮華・魚・巻草・線の紋様もある。規模としての平均値は、一期よりも二期の方が幾らか大き くなったことがうかがわれる。 (二) 江西省

墓室の平面類型と内部構造を指標として、これまでに発掘された墳墓群を、南昌及びその周辺地区 とそれ以外の地区とに二分した。

1. 江西省の南昌及びその周辺地区

この地域には総計19基の墳墓があり〈附表の江西省1-19〉、孫呉の初め(222年)から陳末(589年) までの時期を通じて、多室・双室・単室を問わず様々な類型の墳墓があるが、それらは全て甬道附き の横穴式磚室墓か甬道の無い横穴式磚室墓である。また、その全てが直壁墓である。墓頂は弧頂・前 弧後弧・前穹後穹がある。墳墓は何れも紋様磚を用いた装飾墓である。

多室墓が5基、双室墓が8基あり、多室・双室墓は両方を加えると南昌における墳墓総数19基のう ち13基となる。単室墓は6基あり、そのうち長方凸形単室2基、長方形単室3基、長方台形単室1基 である。多室・双室・単室墓ともに玄室は平面が細長方形であるものが多い。

特に、平面が長方形の墓室が甬道無しで2つ縦に連なっている双室墓、あるいは甬道無しで2つ縦 に連なる双室で側室附きの墓、双室縦列がいくつか並列している多室墓などが、この地域の特徴であ る。そのうち、多室墓は5基、双室墓は6基である。

無甬道連接長方形双室縦列で側室附きのもの、並列の多室墓には以下の5例がある。南昌小蘭郷孫 呉墓〔文献20〕 〈附表の江西省3〉は長方形の前後双室縦列・前後双室の真中の"藻井"に両耳室が附 いており、南昌東呉高栄墓〔文献21〕 〈附表の江西省4〉と南昌火車站東晋墓(M5)〔文献22〕 〈附表の 江西省10〉は長方形の前後双室縦列で前室に両耳室が附いているもの、南昌火車站東晋墓(M4)〔文 献22〕 〈附表の江西省13〉は長方形の前後双室縦列の前室に両耳室が附き後室に後耳室が附いた墳墓で、 南昌市郊劉宋墓(京墓1)〔文献23〕 〈附表の江西省17〉は長方形の前後双室縦列が二つ並列で連接し たものである。

無甬道連接長方形双室縦列の双室墓は次の6例。南昌市郊呉永安六年墓(263年)〔文献24〕 〈附表の 江西省5〉、南昌徐家坊西晋墓〔文献25〕 〈附表の江西省8〉、南昌東湖区西晋呉応墓〔文献26〕 〈附表の 江西省11〉、南昌西湖区西晋湛千鈐墓〔文献26〕 〈附表の江西省12〉、南昌市郊劉宋墓(京墓3)〔文献23〕 〈附表の江西省16〉、南昌張家山第六号墓〔文献27〕 〈附表の江西省18〉 である。

墳墓の造り方は地面に大きな竪穴を掘ってから、煉瓦で甬道・玄室・耳室を築いており、斜めに下 がった羨道は持ってない。甬道は横砌式で、木/石門は設けられていない。甬道の外に煉瓦で擋土墻 が設けられている例は見られない。甬道は2m以下で、最長でも1.7m。1m以下のものも1基、0.8m である。また、棺床と同じ役割、つまり、玄室の後半部が高まっていて、幅も墓室と同じであるもの が8基ある。また、磚製の祭台を設けているものは南昌火車站東晋墓(M5)の1基だけで、排水溝 が築かれているのも南昌郊区孫呉墓都M1〔文献28〕 <附表の江西省6〉の1基だけである。

多室・双室・単室を問わず、墓室の前後室の間・前後室両端隅・後室の後壁の中央に磚柱を築いて

いるものが11基ある。また、墓室の両側壁に長方龕が築かれているものが1基、磚製の墻台が設けら れているものが1基ある。

多室墓が3基ある。南昌火車站東晋墓(M5)では後室の四隅に磚で角柱が築かれ、南昌火車站東 晋墓(M4)では甬道の両端隅・前後室の間・後室の後壁両角隅に磚柱が築かれ、南昌市郊劉宋墓(京 墓1)では前後室の両側壁に磚製の墻台が、前後室の間・前後室の両端の隅と真中に磚製の柱が築か れている。

双室墓のうち6基には磚柱が、1基には磚の墻台が築かれている。南昌市郊呉永安六年墓は前後室 の間・後室の後壁両角隅に磚製の柱が築かれ、南昌徐家坊西晋墓は前後室の四壁に磚製の墻台が、前 後室の間・前後室の両端隅・後室の中央には磚製の柱が築かれている。この外にも、南昌東湖区西晋 呉応墓では前後室の間・後室の後壁の両角隅と中央に、南昌西湖区西晋湛千鈐墓では前後室の間・前 後室の両端隅・後室の後壁中央に、南昌市郊劉宋墓(京墓3)では前後室の間・前後室の両端隅・後 室の後壁中央に、南昌張家山第六号墓では両端中間券柱前後室の間・前後室の両端隅に磚製の柱が築 かれている。南昌東湖区孫呉墓(M4)〔文献29〕 〈附表の江西省2〉は後室の後壁に長方龕が3つ設け られている。

単室墓は3基あり、そのうち南昌縄金塔西晋墓(304年)〔文献30〕〈附表の江西省7〉では玄室の両 側壁に長方龕が、四隅に磚製の柱が築かれ、南昌東晋朱氏夫婦墓〔文献31〕〈附表の江西省14〉では玄 室の四隅に磚製の柱が築かれ、南昌市郊劉宋墓(羅墓1)〔文献23〕〈附表の江西省15〉では玄室の両 側壁に磚製の墙台が、四隅と後壁の中央に磚製の柱が築かれている。

墓磚は幾何・銅銭・網を主とする紋様磚である。南昌市郊呉永安六年墓(263年)には"呉永安六 年八月熊西城葬"・"熊南城君小□孫墓"の銘文磚と網銭・纏枝・変形魚紋、対角の幾何紋の入った 紋様磚がある。南昌郊区孫呉墓都M1の紋様磚は網銭紋で、南昌南郊西晋墓(M3)〔文献32〕 <附表の江 西省9>では対角の幾何紋、南昌東晋朱氏夫婦墓では網銭紋である。規模としての平均値は、長さ3.54 m、 幅2.05 m、高さ2.29 m、体積16.62 m³である。

2. 江西省の南昌以外の地区

この地域には総計35基の墳墓があり〈附表の江西省20-54〉、孫呉の晩期(265年)から陳末(589年) までの時期を通じて、多室・双室・単室を問わず様々な類型の墳墓が見られる。それらは甬道附きの 横穴式磚室墓か甬道の無い横穴式磚室墓のどちらかで、すべて直壁墓である。弧頂が主ではあるが、 前穹後弧の墓頂を持つものも2基ある。どの墳墓も紋様磚を用いた装飾墓である。

多室墓が8基、双室墓が11基、単室墓が16基ある。単室墓の数は南昌地区より多く、半分近くを占 めている。多室・双室・単室墓ともに玄室は平面が細長方形であるものが多い。長方形墓室が甬道無 しで2つ縦に連なる双室墓、甬道無しで3つ縦に連なる三室墓、甬道無しで2つ縦に連なる双室墓で 側室の附いたもの、甬道無しで2つ縦に連なった双室墓が並列している多室墓、の4類型は、この地 域における顕著な特徴である。

多室墓は、長方形三室縦列墓が5基、長方形双室縦列で前室に片耳室が附いた墓が1基、長方形双 室縦列が二つ並列で連接した墓が1基、特に、方双凸形室縦列の前室に両耳室を配し回廊を廻らした 吉水呉晋磚石墓は著しい点〔文献33〕(附表の江西省20)がある。双室墓は、長方形双室縦列墓が10基、 前凸後刀形室縦列墓が1基ある。単室墓は、長方形単室墓が14基、長方凸形単室墓が2基ある。

墳墓の造り方は地面に大きな竪穴を掘ってから、煉瓦で甬道・玄室・耳室を築いてあり、斜めに下 がった羨道は持っていない。横砌式の甬道に木門が設けられているのは、吉水呉晋磚石墓の1例だけ である。甬道の外に煉瓦で擋土墻が設けられている例は見られない。甬道は大体1-3mの間で、最 長のものは2.8m、1m以下の例も1基あり、0.5mである。また、棺床と同じ役割、つまり玄室の後 半部が高く、幅が墓室と同じである例が14基ある。石祭案を持つのは、吉水呉晋磚石墓と吉水城郊2 号西晋墓〔文献34〕〈附表の江西省23〉の2基である。排水溝が築かれた例は見られない。

この地区に顕著的なものとして、多室・双室・単室を問わず墓室に回廊・"藻井"を築き、墓室の 前後室の間・前後室両端隅・後室の後壁の中央に磚柱が築かれており、また南昌では、墓室の両側壁 に築かれていた長方龕または磚墻台が磚墻台に統一されてくる。

多室墓が8基のうち6基ある。そのうち、吉水呉晋磚石墓は前室の左右の回廊と後ろの回廊の間に 穹窿頂の"藻井"を2つ築き、靖安虎山西晋墓M1・M2〔文献35〕〈附表の江西省21・22〉は前後室の 両端両隅・前中後三室の間に磚柱を築き、清江西晋墓(M9)〔文献36〕〈附表の江西省25〉は前後室の 間に磚柱を築き、高安南朝宋斉墓〔文献37〕〈附表の江西省48〉は前後室の真中に磚中柱を、後室に片 角柱を築き、贛県斉建武四年墓M4(497年)〔文献38〕〈附表の江西省50〉は甬道の前端近くにある封門 の両側に磚柱を1つずつ築いている。

双室墓は11基あり、吉水城郊2号西晋墓は前後室の間・後室両角・中央に磚柱を築き、瑞昌馬頭西 晋蟇〔文献39〕〈附表の江西省24〉は前室の壁面上部の四角隅に磚台を築き、新建楽化老屋村西晋墓〔文 献40〕〈附表の江西省27〉と清江洋湖東晋寧康二年墓(M5)〔文献41〕〈附表の江西省35〉と清江潭埠南 朝墓(M11〕〔文献42〕〈附表の江西省51〉は前後室の間・前後室両端隅・後室の後壁に磚柱を築き、清 江西晋墓(M11〕〔文献36〕〈附表の江西省28〉は前・後室の間に磚柱を築き、清江洋湖東晋墓(M9)〔文 献41〕〈附表の江西省31〉は前後室の間・前室両角隅に磚柱を築き、清江洋湖東晋幕平元年墓M3(357 年〕〔文献41〕〈附表の江西省33〉は前後室の間・後室両角隅に磚柱を築き、清江洋湖東晋昇平元年墓 M4(357年)〔文献41〕〈附表の江西省34〉と清江経樓至徳二年墓(584年)〔文献43〕〈附表の江西省52〉 は前後室の間・前後室両角隅に磚柱を築き、贛県劉宋景平年胡氏墓〔文献44〕〈附表の江西省45〉は前 後室の間・前室と甬道両角隅に磚柱を築いている。

単室墓16基のうち4基があり、九江蔡家窪東晋墓〔文献45〕〈附表の江西省44〉と贛県元嘉七年胡氏 墓M2(430年)〔文献46〕〈附表の江西省46〉は後壁の真中に磚柱を築き、清江潭埠劉宋泰始墓M3(470 年)〔文献42〕〈附表の江西省47〉は玄室の四隅・後壁真中に磚柱を築き、靖安虎山南朝墓(M3)〔文献35〕 〈附表の江西省54〉は玄室の四隅に磚柱を築いている。

墓磚は南昌地区より紋様磚が多く、幾何・銅銭・網紋の外にも葉脈・纏枝・巻雲・弧線・蓮華など の紋様がある。靖安虎山西晋墓M1(286年)と靖安虎山西晋墓M2(288年)には葉脈・銭紋と対三角 紋があり、靖安虎山西晋墓M1には"太康七年□二作□"の、靖安虎山西晋墓M2には"太康九年校 尉葬□"の銘文磚がある。吉水城郊2号西晋墓は網銭紋で、新干酒廠西晋墓〔文献47]〈附表の江西省 26〉は巻雲紋、新干金鶏嶺東晋墓(M12)〔文献48〕〈附表の江西省36〉は半弧銭紋、新干金鶏嶺東晋墓 (M34)〔文献48〕〈附表の江西省43〉は纏枝紋、九江蔡家窪東晋墓は斜方格・対角銭紋である。贛県劉 宋景平年胡氏墓は"景平年胡"の銘文磚と網格・網銭紋の紋様磚で、贛県元嘉七年胡氏墓M2(430年) は"宋元嘉七年"・"胡氏"・"七年大歳庚午"の銘文磚と銭紋磚、清江潭埠劉宋泰始墓M3(470年) は"泰始六年聶"の銘文磚と網格紋磚、贛県斉建武四年墓M4(497年)は"斉建武四年七月"・"方 建武四年"・"万凌"などの銘文磚と蓮華・銅銭紋、蓮華・葉脈紋、車輪線紋の紋様磚、清江経樓至 徳二年墓(584年)は"至徳二年"の銘文磚と網格・車輪線紋磚である。規模としての平均値は、長 さ3.77m、幅1.4m、高さ2.04m、体積10.77m³である。

江西省(表3)を総括すると、孫呉の初め(222年)から西晋(280-317年)・東晋(317-420年) を経て陳末(589年)に至るまでの間、特に平面が長方形の墓室が甬道無しで2つ縦に連なる双室墓 と甬道無しで2つ縦に連なる双室に側室の附いた墓や無甬道長方形双室縦列が並列で連接した多室墓、 即ち、無甬道の長方形双室縦列の双室墓・多室墓の存在と多室・双室・単室を問わず墳墓内に煉瓦で 端柱・間柱・角柱・中柱を築くのが、この地域の特徴である。なお、甬道附きの横穴式磚室墓が主流 であるが、甬道の附いていない横穴式磚室墓も見られる。また、多室墓・双室墓を中心としたものか ら単室墓が主流になってゆく傾向が見受けられる。玄室は全て直壁で弧頂が主で、墓室には棺床・祭 台が設けられている。墳墓は全て紋様磚による装飾墓であり、総じて規模は小さい。また、南昌及び その周辺の地区と南昌以外の地区の間には地域的な差異が見受けられる。

南昌及びその周辺の地区では、孫呉の初め(222年)から陳末(589年)において多室・双室墓は墳 墓の総数において

南昌以外の地区では、孫呉の晩期(265年)から陳末(589年)において単室墓は南昌地域より多く、 半分近くある。無甬道の長方形双室縦列の双室墓と無甬道の長方形双室縦列附側室や無甬道長方形双 室縦列の二つ並列連接や三室並列の多室墓が顕著である。即ち、無甬道の長方形双室縦列のような双 室墓・多室墓がこの地域の特徴である。すべて直壁墓である。弧頂が主である。甬道に石門の設けら れている例が1基あり、甬道の外に磚擂土墻が設けられている例は見られない。甬道は南昌地区のも のより長く、1-2mである。また、玄室の後半部が前部より高く、棺床と同じである。磚製の祭台 に代わり、石製の祭案が置かれているが、排水溝は見られない。注目されるものとして、多室・双室・ 単室に煉瓦で端柱・間柱・角柱・中柱を築き、また、墓室の側壁には磚製の墻台だけが設けられてい

111 (246)

る。墓磚は南昌地区のものより紋様が増えてきた。幾何・銅銭・網紋の以外は銘文、葉脈・纏枝・巻 雲・弧線・蓮華などの紋様が多くなってきた。規模平均は、長さ3.77m、幅1.4m、高さ2.04m、体 積10.77m³である。

三、華南(湖南省・江西省)における墳墓形態の共通性と特異性

ここまで華南の湖南省及び江西省地域における孫呉(222年)から西晋(280年-317年)・東晋(317 年-420年)を経て、陳末(589年)に至るまでの墳墓群を整理・分類した上で、その地域の墓室構造 の変化を基に時期を区分した。それによって、それぞれの地区において時代とともに墳墓が変わって いった状況が明らかとなり、墳墓形態の共通性と地域に固有な特性を指摘することが可能となった。

1. 華南(湖南省・江西省)における墳墓形態の共通性

第1に、すべての墳墓が、地面に大きな竪穴を掘って、煉瓦で甬道・玄室・耳室を築いている。そ の甬道は、煉瓦を横砌式に積み上げたものである。また、甬道附きの横穴磚室墓が主流であるが、甬 道附の無い横穴式磚室墓もある〈附表〉。

第2に、多室墓・双室墓・単室墓の三類型のうち、単室墓が圧倒的多数を占めているという事実で ある。多室墓・双室墓から単室墓になる傾向がある。墓室は全体として細長い。

第3に、玄室の壁面はほぼ直壁である。墓頂は弧頂が主で、弧頂・穹窿頂・前弧後穹・前穹後弧が 併存する状況から、弧頂に統一される傾向が見られる。

第4に、墓室に棺床・祭台・排水溝を設けている。玄室の側壁と後壁に長方龕または長方磚柱を築 いている。

第5に、紋様磚による装飾墓である。銘文が入った磚や幾何・銅銭の簡素な紋様の入った磚で飾ら れた墳墓から蓮華・纏枝巻葉花草の複雑な紋様磚や人物像・僧侶・飛天・武人・龍鳳・魚・鳥・獣な どの画像磚で飾られた墳墓へと展開する。

第6に、墳墓の規模は小さく、構造も概して単純である。

2. 華南(湖南省・江西省)における墳墓形態の特異性

第1に、湖南省の長沙地区のみ弧壁の長方凸形単室墓が多い、墓室の壁面上部には長方龕・直櫺仮窓、特に密築の長方龕(= "窓格")が築かれている。

第2に、江西省では、平面が長方形の墓室が甬道無しで2つ縦に連なる双室墓・甬道無しで2つ縦 に連なる双室で側室が附いた墓や長方形双室縦列がいくつか並列した多室墓、即ち、無甬道の長方形 双室縦列のような双室墓・多室墓が存在することである。また、多室・双室・単室に煉瓦で端柱・間 柱・角柱・中柱が築かれている点。

(247) 110

四、時期の変遷と地域間の相違

華南の湖南省と江西省の共通性とともに、より小さな地域を単位とした差異とそれを共有する地域 について考察するものである。

時期の変遷

1) 墳墓類型

湖南省では、長沙地区に西晋の太康八年から東晋にかけて多室・双室・単室の三類型が共存して いるが、劉宋以後には単室墓に統一されてくる。長沙以外の地区では、孫呉から陳に至るまでほぼ 単室墓であり、双室墓は64基のうち3基しかない。

江西省では、孫呉から陳まで多室・双室墓が主流になって墳墓総数の圧倒的な部分を占めている。

② 墳墓構造

魏晋南北朝期に入ると墓槨が消え、墳墓はすべて墓室構造となった。それらはほぼ横穴式の磚室 墓で、主流となるのは甬道附きの横穴式磚室墓と甬道の無い横穴式磚室墓である。この外には、斜 めに下がった羨道(斜坡羨道)を有する横穴式磚室墓・階段状の羨道を有する横穴式磚室墓・竪穴 式磚室墓・竪穴式土坑墓が少数ながら併存している。墓壁は直壁が主であるが、湖南の長沙地区だ けは弧壁墓が多い。また、墓頂は弧頂・穹窿頂・前弧後穹・前穹後弧が併存する状況から、弧頂に 統一される傾向が見られる。多くの場合、玄室には棺床が築かれているが、祭台が築かれている例 はあまり多くない。装飾墓は、銘文が入った磚や幾何・銅銭の簡素な紋様の入った磚で飾られた墳 墓から蓮華・纏枝巻葉花草の複雑な紋様磚や人物像・僧侶・飛天・武人・龍鳳・魚・鳥・獣などの 画像磚で飾られた墳墓へと展開する。また、規模の平均は長さ3-4m、幅1-2m、高さ0.8-4m で、あまり大きくない。

墳墓の造り方は地面に大きな竪穴を掘って、煉瓦で甬道・玄室・耳室を築いている。甬道は煉瓦 の横砌式であるが、甬道の外または甬道と墓室の外側両端に擋土墻が築かれているもの・墓室に排 水溝が築かれ、さらに玄室の両側壁と後壁に長方龕または長方磚柱が築かれていることは、中国古 代の埋葬制度において画期的なことであり、墳墓における伝統的な内部施設と訣別した、新たなス タイルの誕生は、当時の社会情勢が劇的な変化をしたことを窺わせる。この墓制は南方地区にも広 がって、盛んに行われていく。また、各省では、時期的或は地域的な変化もある。

湖南省の長沙及びその周辺地区では、一期(287年-420年)においても単室墓が圧倒的多数を占 めていたが、二期(421年-589年)に入ると、すべて単室墓になってきた。甬道附きの横穴式磚室 墓が主であるが、一期には見られかった竪穴式の土坑墓が3基ある。玄室の墓壁は弧壁が主流であ る状況から弧壁と直壁が半々となり、墓頂はすべて弧頂になった。また、一期には甬道の外に築か れていた煉瓦の擋土墻が、二期に入って見られなくなった。一期には長方形龕が築かれるだけであっ たが、二期に入ると、側壁に長方龕が築かれると同時に、後壁には長方龕が密集して築かれるよう になる(= "窓格")。墓磚の紋様は一期の幾何・銅銭から二期の纏枝巻葉花草に変わる。規模の平 均値は、一期は長さ3.87m、幅1.84m、高さ2.6m、体積18.51m³であるが、二期には多少大きくなっ て、長さ3.77m、幅1.39m、高さ4.12m、体積21.59m³である。

湖南省の長沙以外の地区では、単室墓の占める割合が比較的大きかった一期(222年-420年)か ら二期(505年-589年)に入ると、ほぼ単室墓に統一されてくる。なお、一期には見られなかった 竪穴式の土坑墓も2基ある。甬道は一期よりも短くなっており、すべて1m以下である。磚製の祭 台が築かれた例も一期より多く4基が見つかっている。また、新しい要素が二期に入って出現する。 一期に長方龕が築かれていた墓壁には長方龕が密集して築かれ、"窓格"になった。玄室の壁面か ら突出した半磚幅の平台には小皿が置かれており、前・後室の両隅と前・後室の間には磚製の半柱 が築かれている。墓磚は二期に入って素面磚に変わり、14基のうち10基が素面磚で築かれている。 なお、葉脈・幾何・蓮華・魚・巻草・線の紋様磚が残りの4基で用いられている。規模としての平 均値は、一期が長さ3.10m、幅1.0m、高さ0.76m、体積2.36m³なのに対して、二期では少々大き くなって、長さ3.40m、幅1.33m、高さ0.99m、体積4.48m³となっている。

江西省を、南昌及びその周辺地区と南昌以外地区に二分した。両者に共通していることは、無甬 道の長方形双室縦列のような双室墓・多室墓が存在することと、多室・双室・単室を問わず煉瓦で 端柱・間柱・角柱・中柱が築かれているということである。単室墓が南昌地区より多く、墳墓総数 の半分近くを占めている。また、甬道に石門が設けられている例が1基ある。甬道は南昌地区のも のより長く、1-2mある。南昌地区で見られる磚製の祭台の代わりに石製の祭案が置かれていて、 排水溝は無い。墓磚は南昌地区より紋様が増えてきた。幾何・銅銭・網紋の以外は銘文、葉脈・纏 枝・巻雲・弧線・蓮華などの紋様が多くなってきた。規模は少々小さくなってあまり変わっていな い。規模の平均は、南昌地区は長さ3.54m、幅2.05m、高さ2.29m、体積16.62m³で、南昌以外の 地区は長さ3.77m、幅1.4m、高さ2.04m、体積10.77m³である。

2. 地域間の相違

- ① 装飾墓:孫呉の初め(222年)から陳末(589年)にかけて銘文磚と紋様磚で飾られた墳墓が盛ん に造られている。
- ② 湖南省では、多室・双室・単室を問わず弧壁墓が卓越している。113基のうち直壁墓はわずか33 基に過ぎない。その点では、殆どが直壁墓である他処の状況とは明らかに異なった様相を見せてい る。

魏晋南北朝における華南(湖南省・江西省)墳墓の編年的分析 戴 俊英

江西省で前室と前後室間無甬道縦列の双室墓が見られる点は注目される。

③ 湖南省では墓壁に長方龕が密集したもの、即ち"窓格"を設けているのが目を引く。また湖南省の長沙以外の地区では、棺床そのものではないが、棺を支えるという棺床と同様の機能をもった"棺架"というものが見られる。それは他処では見られないものである。江西省では多室・双室・単室に煉瓦で端柱・間柱・角柱・中柱を築いてあるものが注目される。

3. 文化地域間の波及と受容

湖南省・江西省の武漢を中心とした地域は、南京を中心とした浙江省・福建省地域とともに、長江 流域の中心部から離れた地ではあったが、西晋王朝の滅亡に始まる諸民族の大移動によって中心地域 からの様々な影響を受けることになった。その一方で、土着の文化的伝統を基にした強固な地域性を も保持し続けたのであった。

例えば、湖南省における階段羨道横穴式磚室墓・密集して築かれた長方龕、長沙地区の弧壁墓や長 沙以外の地区の棺架がそれに当たる。江西省においては前室と前後室間無甬道縦列の双室墓や多室・ 双室・単室のそれぞれに煉瓦で端柱・間柱・角柱・中柱を築いていることである。

小 結

ここまで、魏晋南北朝における華南の湖南省及び江西省地域の墳墓について時間的な変化と地域の 差異を基にして具体的に検討してきた。その結果、大規模かつ豪華な墓作りに熱心であった後漢とは 異なり、この時期には、構造が簡単で規模もささやかなものに変わったことが明らかになった。その 背景には、当時の人々の墓葬に対する意識に大きな変化があったことが推量される。このような墓葬 制度の急激な変革に伴う思想的・イデオロギー的背景を明らかにすることが必要と思われる。

魏晋南北朝期において、仏教弘布に伴って新しい思想・文化・意識形態が到来したことや、激しい 政権交替・恒常的な民族移動が誘因となって騎馬民族などの習俗が取り込まれたことなど、いくつか の要因が想起されるが、その具体的な解明は後稿に譲ることとする。

注:相応する訳語の見当たらない術語については、取りあえず中国における表現をそのまま用いた。

【参考文献】

- (1) 葉驍軍「中国墓葬発展史」甘粛文化出版社 1994年
- (2) 馮普仁「南朝墓葬的類型與分期」『考古』1985年3期
- (3) 蒋賛初「長江中游六朝墓葬的分期和断代」『中国考古学会第三次年会論文集』文物出版社 1984年
- (4) 楊泓「三国考古的新発現」『文物』1986年3期
- (5) 姚仲源「浙江漢、六朝古墓概述」中国考古学会編『中国考古学会年会論文集』(1981年)
- (6) 曾凡「関于福建六朝墓的一些問題」『考古』1994年5期
- (7) 林忠干·林存琪·陳子文「福建六朝墓初論」『福建文博』1987年2期
- (8) 安郷県文物管理所「湖南安郷西晋劉弘墓」『文物』1993年11期
- (9) 湖南省文管会李正光「長沙北門桂花園発現晋墓」『文物』1955年11期
- (10) 湖南省博物館「長沙南郊的両晋南朝隋代墓葬」『考古』1965年5期
- (11) 湖南省博物館「長沙両晋南朝隋墓発掘報告」『考古学報』1959年3期
- (12) 湖南省博物館「醴陵、株洲発現漢晋墓葬」『湖南考古輯刊』第3集(1986年)
- (13) 高至喜「瀏陽姚家園清理晋墓二座」『文物』1960年4期
- (14) 周世榮「長沙黄土嶺発現六朝墓」『考古通訊』1957年4期
- (15) 湖南省文物管理委員会「長沙爛泥冲斉代磚室墓清理簡報」『文物』1957年12期
- (16) 衡陽市文物工作隊「湖南耒陽城関六朝唐宋墓」『考古学報』1996年2期
- (17) 湖南省博物館「湖南資興晋南朝墓」『考古学報』1984年3期
- (18) 邵陽市文物局「湖南邵陽南朝紀年磚室墓」『文物』2001年2期
- 19 衡陽市文物工作隊·衡陽県文物管理所「湖南衡東城関南朝墓清理簡報」『江漢考古』1992年2期
- 20) 南昌県博物館「江西南昌県発現三国呉墓」『考古』1993年1期
- (21) 江西省歷史博物館「江西南昌市東呉高栄墓的発掘」『考古』1980年3期
- 22 江西省文物考古研究所·南昌市博物館「南昌火車站東晋墓葬群発掘簡報」『文物』2001年2期
- 23) 江西省博物館考古隊「江西南昌市郊南朝墓発掘簡報」『考古』1962年4期
- (24) 秦光杰「江西南昌市郊呉永安六年墓」『考古』1965年5期
- 25 江西省文物管理委員会「江西南昌徐家坊六朝墓清理簡報」『考古』1965年9期
- 26 江西省博物館「江西南昌晋墓」『考古』1974年6期
- 27 江西省文物管理委員会「江西的漢墓與六朝墓葬」『考古学報』1957年1期
- (28) 江西省博物館「江西南昌東漢、東呉墓」『考古』1978年3期
- 29 唐昌朴「江西南昌東呉墓清理簡記」『考古』1983年10期
- 30 江西省博物館「江西南昌市郊的両座晋墓」『考古』1981年6期
- (31) 陳定栄·許智范「南昌市区清理一座東晋墓」『考古』1984年4期

魏晋南北朝における華南(湖南省・江西省)墳墓の編年的分析 戴 俊英

- (32) 江西省博物館「江西南昌市南郊漢六朝墓清理簡報」『考古』1966年3期
- (33) 李希朗「江西吉水晋代磚室墓」『南方文物』1994年3期
- (34) 江西省文物考古研究所·吉水県博物館「江西吉水城郊2号西晋墓」『文物』2001年2期
- (35) 江西省文物工作隊「江西靖安虎山西晋、南朝墓」『考古』1987年6期
- (36) 江西省博物館考古隊「江西清江晋墓」『考古』1962年4期
- (37) 高安県博物館「江西高安清理一座南朝墓」『考古』1985年9期
- (38) 赣州市博物館「江西赣県南斉墓」『考古』1984年4期
- (39) 江西省博物館「江西瑞昌馬頭西晋墓」『考古』1974年1期
- 40) 余家棟「江西新建清理両座晋墓」『文物』1975年3期
- (41) 江西省文物管理委員会「江西清江洋湖晋墓和南朝墓」『考古』1965年4期
- 42) 江西省博物館考古隊「江西清江南朝墓」『考古』1962年4期
- (43) 清江県博物館「江西清江経楼南朝紀年墓」『文物』1987年4期
- 44) 赣州地区博物館·赣県博物館「江西赣県南朝宋墓」『考古』1990年5期
- 45) 九江県文物保護管理所「江西九江県清理一座東晋墓」『江西文物』1990年1期
- 46 贛県博物館·頼斯清「江西贛県南朝宋墓的清理」『考古』1996年1期
- 47) 江西省文物工作隊・新干県文物陳列室「江西新干県西晋墓」『考古』1983年12期
- 48 江西省文物管理委員会「江西新干金鶏嶺晋墓南朝墓」『考古』1966年2期

王子 王子				#					建化物物浆精	:			
「「「「「」」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「	-+-+			ľ	埋葬施設形態					9 形 値		提 楼(ma)	「「「「「「」」」
在展入在高(M2)) 在2月10日 1月11日 第二日 1月111 1月1111 1月1111 1月1111 1月1111 1月1111 1月1111 1月11111 1月11111 111111	287年	5		装飾道	11 A2	三本 東東 東美	嘉堂 棺床	第 台	満大様				Τ.
理能(M2)) 理想(M2) (M2) 第1 第1 第1				幾何後班	長方凸形単室	1.3 1	直怪	_		東政		2.9 1.5	幾 文物60.4
第1948章 第1111 第1111	302#		甬道横穴碑室墓	篤文		1.2 1	部感			M M	単壁下底部長方藏1	3.9 3.1	狭2.4 学報59.3
mm (mzz) mm (mz) mm (mz) m	306年		斜坡羨道禎穴疎室墓			残6.2 3重		Ê	甬口狭10	有種頂		3.6	
			甬道横穴碑室墓	第 回算	長方台形単室	<u></u>	直壁 碑床(問)	Ê		×		4.1 1.4	援 文物60.4
	+		甬道横穴碑室里 	推回就	強長方凸形単室	_				東京	両壁各2後1長方藉	4.6 1.9	2.4 考古65.
	-+-		■通機穴等型 ■ 1 4 4 1 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		発長方凸形単変	1.1	翅壁 碍床 (同)	<u></u>	┥	調査		3.8 1.6	非 古65.5
			南連很不得至是		雪長方凸彩単茎							4.9 1.8	考古65.5
	+		+	震回数	弧方凸形单室附离耳	H I 6.1				可能顶	兩2玄1耳1長方藉	4.5 4.2	##859.3
変換	+			撤回教	盛方凸形单室甬道附南耳	2.1 1	御原	_		穹窿顶	後壁中間長方籠1	3.3 3.6	推續59.3
秋県	280-317 318-420		馬道橫穴導墜萬		堕方双凸形室模列	2.4 12	葡萄 课床2	~		前年後周	後壁下底部長方裔(4 32	装飾59.3
余 国	280-317 318-420	-	甬道横穴碑室墓	凝聚	長方形双室緩列	第1 17	直壁 幕床2			御余御集	- 梅香田田香夫科夫	4	
	280-317 318-420	_	漸進機穴線室蓋		盛長方双凸彩室維列	25 1				4 2 4 4			
余輩	280-317 318-420		建築物化教授 理		法国大に影響者		-				同連門室法ク語台	1	
	+						× ×					41 1.7	現2.6 学報59.3
	+		Τ		発表方さが単変	13 1		Ē			両壁2後壁1	4.2 1.3 5	残1.5 学報59.3
	280-317 318-420		角通視穴碍室墓 [2	四田院教	强長方凸形単室	1.5 1	張墅 講床(非)	E) (3	甬道から			4.3 1.5 3	現1.2 学報59.3
-	280-317 318-420		甬道镇穴碑室墓		望長方凸形単変	1.3 1	亞曼 孫氏(非)	E) (3	-		西季季素么!	151	
	280-317 318-420		捕佛理公律师理		盛物力で表展後	15							
余 単					X T T T T T T T T T T T T T T T T T T T				Ī	T		4.3	
	+	Ī		T	「「「「」」「「」」「「」」「」」				Ì			3 F.	残0.7 学報59.3
	+		唐通很汉保至島		四長万凸形単茎			E)	-			4.1 1.1 2	現0.6 学報59.3
20	280-317 318-420		甬道横穴確室墓		蕴長方凸形単変		· 整整 确床(非)	â			医轻轻痛头!	38 16 1821	121
	280-317 318-420		甬澞椾穴璑霯蒕		延長方凸彩単志	07 18							
余 単	+-		相保信に発行し		第四十六號里數			Ť		T			
5	+		t			_						1.6	
X/X T	+		T	新 立教	如長万凸形単変	1.5 1	「「「「」」		墓底中央		两壁後壁龍各 1	3.6 1.8 7	現0.6 学報59.
長沙	280-317 318-420		甬道横穴确室墓 9	素健幾何	長方凸形単変	1.5 1	重整			同語		42 12 #	第07 学編593
長沙	280-317 318-420		甬道镇穴碑室墓	素鏡幾何	長方凸形単変	1.5 11	重要			1		a	+
長沙	280-317 318-420			素錢機何	長方凸彩道家	18.1				E M			
5W	t		Τ						╎			2	-
	╋		I		洗力形単単							2.7 1 2	現1.1 学報59.
_	280-317 318-420		至穴碍室裏		長方形単室		直壁 确床(非)	5				3.3 0.9 90.3	10.3 *#59.3
-	280-317 318-420		竪穴碑室墓		長方形単室		調整					27 07 2	第0.2 学編59.3
	361年		酸的香油糊穴碱变革	新田泉	編集社会変要換		11						
311集沙南等雷库二年到氏力直(M2) 复沙	4 4 4 6		+		Marter and						ł	-	
+	#c/2		Т	×	異長方口腔手業	Ē		6	夏至内	E.	南壁長方龍各1	4.6 1.8 39	残2.5 学報59.3
_	318-420		高速接穴碟壁墓 18	秦司信留	質長方凸形単室	1.6 1董	弧壁 研床(非)	1	数编辑	間間		5.1 2.2	2.5 推測備刊
長沙			橫穴磚室墓		長方形単室	_	- 建底(地)	6	┝	╀─	┝		****
:-													
		421-479	Т	£ж	望長万亡枪車室	1.6 1	凱墅 碑床					4.41 1.7	学報59.3
_		斉493年		素画銘文	弧長方凸形单室	1.6 1重	颈壁		-			4.6 2.2	2.7 *******
		淋499年	國與後這樣穴得達萬	花葉紋	强畏方凸形单室	2.1 12	這些 建底(非)		-		而舉森各3後韓安地24	48 22	47 女権5713
(M2)		春499年		林業社	盛年方で彩筆家						╀		
-		502-557	1-		医大松道安	•				-	両面間行って至め信24	7	
30 年冷緒十篇六篇章		101 - 500	,	11 H H H	■十九以前會開係合	+	+	+	+		╉	3.6 0.9 2	20./ FEEDS.3
		COC 174	1		X/UPFENXE	1		19 A I	雪至塔	S A A	向堂長万種各3後1		考古57.4
		4Z1 - 289		化果	如我万心於旱茎	2.1 12	処整 碑 床(非)	-		-	後壁窓格26	4.3 2.1	4.7 学報59.5
長沙		421-589	再進機穴碼室萬	花葉	姬長方凸形単茎	1.5 1	亞墅 瑞床(非)	-			後輕波橋9	4 2 09	集44593
長沙		421-589	斯斯拉尔福度	花葉	强長方凸形単室	15 1	硫酸 硫依(非)		草室内	-	╞		- BEEG
		421-580	┢	花蔭	医療大力状態後								-
余華		101 - 500	╀	£		ų						-	2.8CM
5 U		200 174			X/1744	+			╉	50.1E		3.8 1.1	考곱65.5
171 H		471-289	横い時至島		我力形単茎	=	E E		幕底		,	4.1 0.9 残	携1.2 学報59.
	-	421-589	横穴碼室墓		長方形単室	1	寬壁					4.1 0.9 20.7	0.7 学報59.3
長沙南朝墨(M10) 長沙	-	421-589	竪穴土坑墓	-	長方形単変		「「「「「」」」					27 07 7402	0.2 14459.3
		421-589	竪穴土坑墓		長方形単室		御御						
- 秋曽		421-589	製力十姓萬		暴力秘厳密					╞			
		200 174			#+417X					-		3.1 > 1.1 1/2	1.1 / 須0.91 子鞭59.3
1000 1011			F	11								٠Ł	
			T	新市教	鉄万形旱室		a a		-		2	2.2 0.4	0.3 朱槿96.2
01 本博規第二四株式書(M02/2 本博 222-280			1	第 回数	長方形単室	_	直壁	_	-		2	2.6 0.4	0.4 学報96.2
XIN 222-			T	幾回教	長方形単室		直壁			-	2	2.2 0.4	0.3 #4696.2
			竪穴磚室墓 剣	幾何較	長方砂単変		度型	調合し		-		10	04 24 24 296 2
莱陆 222-		-	-	建固醇	具大秘道家		1			╞			

岡山大学大学院文化科学研究科紀要第18号(2004.11)

(253) 104

学報96.2	# 48 96.2	7 10 2	# 16 96.2	##86.2	学報96.2	学報96.2	学報84.3	学報84.3	P#0 84.3	学報84.3	#48 84.3	学報84.3	L 7889.4	L Vallage	C YOUNT	1.4014	7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	FW84.3	# # 84.3	牛氟84.3	# 66 84.3	##84.3	学報84.3	##84'3		7.484.3	F#84.3	##84.3	0.4 1484.3	学報 96.2	#6 96.2	FW 96.2	## 96.2	F#86.2		7.0434-	+ 40.0.7	102	- 400 V	2.000.0	C 3UBA	5 JUBRA	2.06.04			学(184.3	##84.3	X #01 2	X #101.2	5.48 8 4	7-16 M	TORNA L	776¥'T!		7-16.30-2	7-06.30 -	0.4 手板90.2 D6 终期96.2	0.0 + 1006.7	1000
0.5		-	5		4	0.4	1.2	-	6.0	6 .0	=	1			3	_							63					2								5			2				5	- 6	3		3.9	1	1		7 1.2		ĸ	- 6	8	- 2	* 9 C		
0.8	0.6	8	-22	8.0	0.7	0.6	1.4	1.1	1.8	4	-	13	1	-		6.0					_		6					1 0			8	=		6.0			200			-	2 0					5.1		1	2.6			-			E .		0.0		
2	2	60	-	2.4	2.9	3.8	3.2	4.1	3.8	3.4	3.8	4			5. 4	2	3.5	3.3	1.9	2.5	27	3.4	3.7	37	4	-	59	-	1.4	3.2	3.6	35	ri H	5	5.6	5 6		;; -	2					ŝ		4			全5.9		± £5.	*	9.5	+	4	8	2.6	2.9	2.5
															周壁長万龍音2									-						_	三壁底部から塩壁台															再壁半磚台2後壁柱1	面壁檔窓各6後壁柱2	甬道両壁窓格各13後1	兩道両壁窓格各13後1	南壁各股半硼幅平台2	前後室商端中間碼製半档 全5.2		後壁南端偏裂半征谷「	両壁各股半碘幅平台2					
部項	問題	部長	夏風	an II	調測	an an										۳IJ	週 頂	ЩЩ.	瓢顶		2010	医夏	ЩЩ.	M	Ē	E S	Щ. М	東部業	1111年業	E IN	捕板半回	Ē	周辺	<u>1</u>	E S	現				構版平頂						間間	Ш¥			東京				王 章					
																																								墓施1.5	夏度1.5							発9.5	11.2						瓦藏				
								T				T																																	_					_			19月	_	_	傳台1		「中間	4月41日
							物理の	÷		3	*																				箱台							_	榶 翭							-	Å 新			格	橋瀬		_	槗筙		格維			
御屋	直號	直壁	重整	重	書種	+							뱱	重置	聖	副間	直覺	直壁	鹿壁	憲憲	重整	直壁	観察	運動	直壁	靈靈	建重		直壁	활별	_	直壁	-			쵉븜	唐聖		쵉			쳸		-+		100		直壁	重重	直壁	重整	割機		쵉븜	重重			直壁	重整
	2	1	.	=	•		*		u i	4	<u></u> 변 년 		-	<u>.</u>	변 -												_			빤	1.2 11	_	1.	Ě	Ē	Ē	۳	-	-		뼫	Ē	Ĭ	1	<u></u>	_	2	_		1.	0.4		0.8 1 🕱	별		_	\downarrow		
L	╞						+	+	+		+	+			-			-	┝		╞					-		-		-	-						-								_								0	-	-				-
	<u> </u>	長方形態業	長大税 単常	<u>天/10年年</u> 星大彩道家	TA A PART	<u> 大力形 早 年</u>	<u>長万形単変</u>	長万形以畢至亚州	長方凸形単重	長方凸形単至	長方凸形単室	長方凸形単変	長方凸形単室	長方凸形単室	長方凸形単室	長方形単室	長方影厳室	長大彩鐵客	長方彩道家	見古秋道堂	長方形単葉	長方彩墨客	五大秋道家	兵方形単案 長方形単案	長方形単変	長方秘道室	長方秋道室	馬方台影道音	<u>第</u> 方台彩道室	あたら影響家	長方凸形単葉	長方凸形単室	是方凸形单笔	長方凸形単茎	長方凸形単室	長方凸形単変	長方凸形単室	長方凸形単室	長方凸形単室	長方形単室	長方形単変	長方形単室	長方形単室	長方形単室	長方形単変	11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.	たたい 秋道室	長方凸形単変	長方凸形単室	長方形単室附前後森	長方双凸室縦列	長方凸形単重	長方凸形単室	長方形単変	長方形単室	長方形単変	長方秋単室	長方台形単変	長方台形単室
	莱茜紫 回 黄 茜 卷回	業物物価	推建錄行	莱茜卷 位		莱酮酸 白	業構建何	橋文排	魏文祥	龍文碑	龍文碑	稿文辑	純文碑	縄文碟	總文碑	-	-	-										11 	調や戦	11 () 11 () 12	装装装	林橋寺 回		業続後 回	業網幾何	莱顿般问	葉網幾何	業構造回	業機機何	葉網幾何	葉網幾何	莱姆集何	業網幾何	贌觸幾何	莱桐幾何	# 7 46			本速差线	新雨湯	素術雄	筆画業	夏熊紋	業面積	業面積	建画業	系面碑	新西梁	韓国業
ŀ	R R	Ĩ	Ĩ	i i	* 1	×	R.	2	*	2	20	+	-		=		+	┝	╈	┢	+	+	╀	┢	┢	╞	┢	13	13			1	Т		Γ			**	1	<u>г</u>	—	**	*	*	*	:*		T	T	-	-	t	t	t	╀╌	+			Ŧ
	医六磷荚基	御御御御御御	(大) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	● 第 第 第 第 十 第 一 代 第	様く時間部	橫穴岬至悬	横穴碼室是	橫穴碼室墓	甬道横穴碑室墓	甬道横穴碑室墓	甬道横穴碑室墓	甬道锁穴碍童墓	禹道橋穴磚室幕	兩道機穴構室墓	義道機穴構室墓	西安建立建	御御御行寺	加水間小学	「「「「「」」」である。	19月1日 19月11日 19月110000000000000000000000000000000000	御御御行け葬	御川主/1 4		日子はくど	調整費を発		御御御行寺	御井田へど	日本語小語	新田和小田	「「「「「」」」を見たいます。	「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	用 送 秋 八 秋 秋 日 西 新 新 六 林 六 林 永 西 水 南 水 南 水 南 水 南 水	「「「「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	建设建汽油加速	甬道横穴 碟室 萬	重道推穴碑室墓	甬道横穴碑室墓	重连接穴器室重	階段養道構穴磚室墓	補穴確室裏	構穴碑室墓	推穴攝室黨	横穴磚室墓	橫穴碑室篇		明光教人学習慣	御御御行戦技術	御御御に御神を		精制管心教授 權	產業構次課業業	建築時 公對把握		酸铅漆谱样穴确定重	構造部に載	接入研究部	整六磷重要	整穴碑室墓
																																															+	4070	#100	491-500	401-500	421-589	421-589	421-589	421-589	421-589	421-589	421-589	421-589
								318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	110-420	007 010	074-010	318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	007-010	074 010	074-010	318-420	318-420	118-4ZU	317-420	004-110	317-420	317-420	317-420	317-420	317-420	317-420	317-420	317-420	317-420	317-420	217-420	317-420	317-420														
	280-317	110-087	280-31/	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	280-317	110 000	110-000	110-08	280-31/	280-31/	280-317	280-31/1	280-31/	115-082	110 000	110-097	280-31/	280-31/	280-31/	280-31/				T	T			Γ			Ī															T	T	T	T
ł	~			2	5	2	2	2	2	2	2	2	~	~																	T	t		╎	t	ł	t	t			ł	Ţ	╎	t			╎	\dagger	t	t		t		t	╋	t	╞	┢	+
	未露 #	E E		1	耒陽	₩ 1 1 1	耒陽	餐興	資興	資興	資興	資贌	希腊		大服業		東東		資源	۲. ۲	資源	演 演		漢漢			¥ #		¥ #		新 第 第	医生 日本	₩ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	* 國 第	¥ 唐 四	調達	¥ 1 1 1 1 1	* 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	调整	「「「」」	4 Miles	₩ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	* 19 年間	¥ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	¥ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	F		X X		開始が		東京	米雨 約曲	援来 後留	東渓本四	米国	***	相関	¥ ¥ 200
	ыт <u>с</u> 1	~ #		rκ 1	1	1	711	-	,	-	F	-			1*	1		1	-12	-'	1		1				Ţ	ľ	ľ	1		1		+			11						1		, " 		1	1		Ŧ	1	``\["	-		1"		+	1	1
	5関西晋基(M116)	馬城賀四首最(M93)	E関曲音是(M132)	t関西晋基(M187)	t関西晋墓(M193)	દ関西晋墓(M234)	耒陽城関西晋墓(M242)	皆興智慧(M545)	F ـ ـ E (M345)	皆鼎晋莫(M385)	F ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	6 管題書墓(M393)	5時 (1447)	5 ~ (M1771) 5 首 (AA53)	(夏天百歳/M+23) (※面耳姑/4460)	(W438)	\$是(M3//)	貸與皆是(M381)	·夏(M386)	資興晋基(M387)	資興晋基(M389)	貸興晋基(M391)	資興晋基(M412)	77 資興晋夏(M450)	(M451)	79 資典普墨(M452)	学	資興晋基(M538)	行 是(M382)	E (M383)	表陽城関東晋基(M110)	転開東首是(M282)	86 朱陽城関東晋是(M100)	<u> </u>	武漢東首都(MINI) *龍本平首(11000)	成関東百番(M202) *闘本亜荷(14005)	英国来百巻(M200) *諸本亚首(11000)	英国来回参(M233) *開本巡営(M033)	X 関 来 百 巻 (M 2 3 1) ▶ 翻 本 至 ぎ (11 30 1)	93 未陽城関果首都(M201)	21波天日後(M220) 2日本五年(14040)	X 米 回 徳 (M240) ★ 回 本 重 荷 (A100)	<u> 英国東首条(M30)</u> *====================================	未陽城関果百巻(M100) 士師+4輯吉亚首(M100)	<u> 成 </u>	99 未1994 1995 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997	00 資興梁天監四年星(M474)	資興業費通元年是(M413)	<u> </u>	<u>業中入過一年奉(MD)</u>	資興南朝曇(M33/)	未陽残関用期書(M1/0) 十四45副主約第 (11100)	成[後東城隣南朝姜(MI) 油園主都著(1000)	108 資興開駅悪(M388) 十四485十名2 (14045)	未陽吸貨用駅& (M242) 主唱社師志都首(1404)	未陽吸関閉壁を(M94) 本値は間流部首(M94)	未博殃関用料墨(M24/) 主爬は服売部首(M746)	未陽斑関周朝悉(M240) 主限は関南部章(M248)
	城	-	風板	耒陽城関	属板	調査	調技	一個一個	興遇	日日		調査					資興背景	興者	乳乳	免與晋	資興晋	資興置	免期費	資興音	貨馬首墨	賀典 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「実置	「興世	「興音	「美麗	医 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		調ね	留置	お野		宇宙										早興学	見知る	法に見	部憲業	援用		106 米陽城	戦略	王王	留置	「麗市	未帰城日	運動する
	¥	26 ¥	₩	28 	#*	€09	19	62 1	63	64 10	65 2	99 199				69	2	2	22	73	4	2	19		2		80	81	82	83	8	82	**	* +	Жļŧ	₩ ŧ	* +	K P	1	* *	* *	1	1	6	98 3	<u> </u>		101		03		105	¥ :	101	F †	# # 601			112 #

103 (254)

	* ***	延頂 後室後壁長方龍3 全6.4	45	國本中國後輕而各株柱 3.	3.1	属柱 3.9		1.5	-	Ĺ	1	1		。	2	Ц	4 37	1 1		4 2.1 2.6		1.8	1 1.6	3 12 14 考古86.8	-	考古65.4				0.5 0.6	3 6	60		90 0	80				6.0 ¥	44 22	2 3	Π	
	●洪贺 道			计国际移动图 4		쁥			1	#	Ħ	£ 3.9		全7.9 大2.0	1	-	Ļ	全6.2	1	£ 28.4	┢		₽ ₩		3.7					*2	3.6	3.2	2.9	23	3.5	4.2		3.6	3.6	÷53		H	
		<u>ال</u>		中幸望		両壁龕両端四隅柱	萷後四周台兩端真中中間柱	1488448	使用四张月件 由國等機關由員由件	前後面離開中間後真中柱	甬道両端中間後端兩隅柱	玄室四隔拱柱	斯壁台四隅後壁真中 柱	四篇中國後聲其中柱	<u>독달히려져Ļ무무에서</u> 곱않스템분류		回廊投蓬井2	對後國維中國總柱	前後南端中國編柱	同任後王向角任・甲氏	前後室の間碍柱		中間四隅角後中柱腐壁山			間柱前室角柱	閭柱後室角柱	前後室兩端中間拱柱	同柱後室面角柱·中柱							後壁中柱1	甬前端中間前後端角柱	後壁中柱	四属後期中任	MKTEKIAI.	甬道前鳍近封門面侧柱各	間柱後疐両角柱·中柱	
	П			「「「「」」	変換		前弧後弧		11 法定证	新道後望	前翅後通	新 頂	1000		H S		前包後殘	2000	E S	変換する		Ш.			質頂	e e	K N									調道	1111	E I				間頭	
					基督内																														Ī						Ē		
		+	+	推动		後高	被	4	101 101 101 101 101 101 101 101 101 101	E HE	後高		-	構装	ŧ.	$\left \right $	122	橫瀬		铁雨 石栗1		-	捕装	-		複数	植物	後高	施業	運業			_	_		-	後萬	施装	-	╞	編床		
		直壁		転転	-		_		「「「「」」				計算	直開			御機	重壁	直型 1	調整す	重数	-	_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	製業	-				調整	開設		戦			聖		_		開設	+		
	-	Ħ	-		0.8 1 🗮		1	_	1.	- 1 -			ini F	.	2 %	П	2(1)		Ņ			1			m	#					-		_	_		-	1	-	+	N,	1 1	-	
		+	╉	-	0		+	+	┼	-	$\left \right $		-	-		Н	2.8	-	+	-		1.8	-	+		╉	+-		_	+			_	+	╞	0.5		1.6	+	+	2.7		ĺ
	長方形単室附片耳	長方双凸形室織列	長方双室織列中藻并附両耳	<u> </u>	長方凸形単変	長方形単変	長方形双室織列	長方台影単変	<u>快力双差换例附美所间年</u> 直大彩初客能别	天////////////////////////////////////	長方双室前附両耳後附後耳	長方凸形単室	長方形単室	長方形双室緩列	長万次至緩州二つ亚州虐後 三十杉初常総利	長方形単室	大说小韩采前家联西王问题	長方形三室鏡列	長方形三室織列	長方形双室構列	長方双室線列前室附片耳	長方三室縱列後室附龕	長方形双室織列	<u> 大/フルンメ゙業業が</u> 長方形単室	長方形単室	長方形双室織列	長方形理業業列	長方形双室縦列	長方形双室織列	長方形単室 三十三三十三三	<u>大力が単業</u> 具方約単定	長方形単室	長方形単変	長方形単変	<u> </u>	長方凸形単室	長方於双室緩列	長方凸形単室	長方形単変	長万形以至戦所一つ亚列堤伝 島古松二をお別	長方形三葉縦列	長方形双室織列	
	三角鏡橋	三角鏡橋	概葉紋	我问我有 计会编令	推回截着	幾回鉄橋	幾何餘總	嫠何錢親	第三日の	幾何就將	錢橋数	錢網銰	鉄橋設	錢網拔	既將將		建設保護	宇莱銭角	本派成本	供着 校	新回教 百姓	卷属紋	機向機構	推回教	諸国業	農枝方格	新旧数 牛舗坊苑	李睫枝格	李畿技格	数体研	法裁留校	銭網弧枝	銭網弧技	鉄箱道技	医根结征 在Mainte	法推续 角	宇鉄網縄	新設士	ない	自然間	+ 55 m 25	總技錢網	
	兩連機穴碑室墓	甬道横穴碑室墓	横穴磚室墓	膏烧银水蜂菜毒 貓小醋香蕉	馬道機穴碑室墓	横穴碑室墓	榬穴碍室墓	<u> </u>	嘝遈硪バ椕至曓 柚小礂索首	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	而這樣穴碑室墓	甬道楼穴碑室墓	榬穴磚室墓	横穴碑室墓	後六碑室墓	<u>限八時差</u> 高 横穴講室墓	新江湖小村村 市	馬道後八碑室墓	甬道横穴碑室墓	横穴碑室墓	国道法に対当め	甬道横穴碑室墓	構穴碼室墓	横穴螺套基 緒穴螺套基	横穴碑室墓	横穴碑室墓	橫穴綿至暴	核穴确室墓	横穴碑室墓	横穴磚室墓	(描水编型集) 描小篇	横穴碑室墓	檨穴碑室墓	横穴碑室墓	橫穴構至島 接小師世前	服人所未需	甬道横穴碑室墓	甬道横穴碑室墓	機穴磚室墓	· 法小师定量	橫八嶋至豊 兩道橋穴磯室墓	横穴碑室墓	
	il e												421-479	421-479	421-479	421-589																					423-424	430年	470年	421-502	493# 497£	421-557	
	ę								334年	334 1	318-420	318-420												318-420	318-420	345-360	345-371	357年	374年	318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	318-420	402-420							
						304年	280-317	280-317	307年	307年	t							286年	288年	281-290	280-317	280-317	280-317	280-317																T			
1	222-231	222-231	222-231	232-238年 762年	222-280												766-700	207 007																			-			T	+		
+	と見て	8Œ ₩E	風に	₩ EF#	1) 0(1) E 188		虹		10 82 {	00 12 12	I OB HÆ	南昌	副樹	町	0∭ 0 €E {	O DO E HEE	* #	第 次	靖安	Ť T T	四川	新干	- E	1977 1977				1		- 1		新干	新千	地上	本 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王	#1 - 1 7.1	贛県	贛県		高士			
1		区孫呉墓(M4)	昌小蘭鄉孫呉墓] 目 徐 吳 尚 宋 墨 - 夏 末 郊 回 李 宍 六 午 首	1月11.24.25.25.25.25.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15	昌縄金塔西晋墓	昌徐家坊西晋墓	昌南郊西晋幕(M3)	<u>国火車班果背暴(M5)</u> 国吉協区共軍国内第	<u>国来郊区四百六心差</u> 且西湖区西要谋千瓮幕	<u>昌公和64日 16 19/8</u> 昌火車站東晋莫(M4)	昌東晋朱氏夫婦墓	昌市郊劉宋墓(羅墓1)	昌市郊劉宋慧(京墓3)	<u>昌市郊勤宋是(京景1)</u> 日記会山(第一日前	自逐川天子地第四号墓	步环回路据建厂 箱	<u>水冻天吃粉碎口蛋</u> 安虎山西晋慕(M1)	'安虎山西晋墓(M2)	<u> </u>	回馬退四百番 江西晋莫(N9)	干酒廠西晋墓	建楽化老塍村西晋墓	1.1.四首是(MII) 1.1.若十強国炮四略車等算	江黄土嶺色織廠東晋墓	江洋湖東晋墓(M9)	日東背暴 ゴギ始書車9 正	<u>江洋湖東晋昇平元年襲(M4)</u>	江洋湖東晋寧康二年墓(M5)	干金錫嶺東晋墓(M12)	十筮鵄續東背暴(MI) 工会館進高聖首(MO)	L <u> / / / / / / / / / / / / / / / / / </u>	F金錫嶺東晋墓(M5)	- 金鶏硫東晋基(M8)	- 金錫續東晋是(M11) - 今略陸東西者(1104)	- 並過或来日委 (MD4) - 鼓家露車窖幕	<u> </u>	【元嘉七年胡氏基(M2)	L潭埠劉宋泰始墓(M3)	安南朝宋斉景	女角水明十一年最 国本福井四年篇(M4)	<u> </u>	
	Ħ		昌東湖区孫呉墓(M4)	昌東湖区孫呉皋(M4) 昌小蘭鄉孫呉墓	<u>目東湖区孫呉裏(M4)</u> 昌小蘭塘孫呉墓 昌孫呉高栄墓 - 1 皇末然回乡中六年曾	昌卑璬妱硃巺寋(M4) 昌小蘭鄉孫巺墓 昌亦與高栄墓 昌市郊呉永安六年墓 昌初区孫呉卓都M1	昌東敬区孫呉墓(M4) 昌小蘭鄉孫呉墓 昌市郊呉杰栄英 昌都邓区孫呉婁都M1 昌織金塔西晋墓	昌小戰國区保兴惠(M4) 昌小戰國在兵民事 昌府兵司淮淮 昌府和四兵主章 昌治和四兵與董翁MI 昌國金孫民美都MI 昌統家坊西晋墓	自身被囚係決惑(M4) 自身成功民務議員 自務成長常選集員 自務政民務兵業都M1 自務など西晋書 自務金郎西書裏 自務が回書。(M3)	a 마무 2015년 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	ale 문행(RAR) (M41) 클유, RAR(RAR) (M41) 클라. (RAR)	ale Ray Rough (M4) 클바로 Ray Rough (M4) 클라 Ray Ray Rough (M4) 클라 Ray	aleranderen aler	用屆來 여름유명 리를유나 리를유나 리를유가 리를유가 리를유가 하는 라는 하는 하는 하는 하는 하는 하는 하는 하는 하는 하는 하는 하는 하는	和昌史,國國保險與團((14) 和昌史,國國保險與團(14) 和昌中,國國保險與團維保 和昌和政策與團維的 和昌和政策的 和自己的政策是政策 和自己政策的 和自己政策	和自此情報任法律 有自止情報任法律 有自正保護者 有自正保護者 有自正保護者 有自正保護者 有自正保護者 有自己 有自己 有自己 有自己 有自己 有自己 有自己 有自己 有 有 有	而國語人民國大學國家 和國語人民國大學國家 和國語人民國家 和國語人民國家 和國語人民國家 和國語人主要 和國	和自由小寶雄協協会 有自由小寶雄協協会建 有自由小寶雄協協会建 有自由小寶雄協協会 有自由小寶雄協会 有自由小寶雄協会 有自由政策的的音樂 有自由政策的的音樂 有自由政策的的音樂 有自由政策的 有自由政策 有自由政策 有自由政策 有自由政策 有自己的 有自己的 有 自由政策 有 自由政策 有 自由政策 有 自由政策	而自盛水價鐵協協與團(14) 而自國水價鐵協協與團(14) 而自由小價鐵協協與團領 而自由小價鐵保護總統 而自由於要的的時具團就的 而自由於要的的時間 而自由於要的的自動。 而自由於國的的自動。 而自由或的的的 有自己的的的子子。 而且一個的的一個。 而且一個的的。 而且一個的一個。 而且一個一個。 而且一個一個。 而且一個一個。 而且一個一個一個。 而且一個一個一個。 而且一個一個一一一一 一個一一一一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一	這個來國格保護(M4) 這個外國國格保護(M4) 這個外國國格保護者來 這個外國者來會 這個的國格的高者來 這個的國格的習習。 自然的的是是不能 這個人的一個 自然的國來是《總是 自然的國來是《總是 自然的國來是《總是 自然的國來是《總書 自然的國家是一個 自然的國家是一個 自然的國家是一個 自然的國家是一個 自然的國家是一個 自然的國家是一個 是一個的國家是一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一	自动的 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	自動電腦保護。 自動電腦保護保護。 自動保護保護。 自動保護保護。 自動保護保護。 自動保護保護 自動化研究。 自動化合成研究 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自動化合成研究 自動化合成研究 自己、 自己、 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自己、 自動化合成研究 自動合成研究 自	自建和國保險機(M4) 自動管理的保險機(M4) 自動行用的。 自動保護保護 自動保護保護 自動保護保護 自動保護保護 自動保護保護 自動全球保護保護 自動大量收集階級(M5) 自動大量收集階級(M5) 自動大量收集階級(M5) 自大量收集階級(M5) 自大量收集階級(M5) 自大量收集階級(M5) 自大量收集階級(M5) 自大量收集階級(M5) 自動金統的背景。 自力支援的內害是成(M5) 自動金統的目標。 一次要求 自動金統的目標。 一次要求 自動金統的目標。 一次要求 一次要求 一次要求 一次要求 一次要求 一次要求 一次要求 一次要求 一次要求 一次要求 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述	唱品來國務保護 電子 化化学生物学者 電子 化化学生物学者 電子 化化学生物学者 電子 化化学生物学者 電子 化化学生物学者 電子 化化学和 電子 化化学和 電子 化化学和 電子 化化学和 電子 化合称 化 量子 化化学和 量子 化化学和 量子 化化学和 量子 化合称 化 量子 化合称 化 量子 化合称 化 量子 化合称 化 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和	·································	自建的保護。 自動化的 自動 在 建物化的 自動 在 建物化的 自動 在 建物化的 自動 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在	自动的 医二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	自動會議的保護。 自動會議會保護。 自動會議會保護。 自動局導動。 自動局導動。 自動局導動。 自動局導動。 自動力量。 自動力量。 自動力量。 自動力量。 一、 大和供給期保護。 同量大量。 自動力量。 一、 大和供給期保護。 一、 大和供給期保護。 一、 大和供給期保護。 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	自動電力的保護。 自動電力的保護。 自動電力的保護。 自動電力的保護。 自動保護者的 自動保護者的 自動保護者的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 自動化的 有動化的 自動化的 自動化的 有動化的 自動化的 自動化的 有動化的 自動化的 自動化的 有動化的 自動化的 有動化的 有動化的 自動化的 有 一 有 一	自主的保護。 自主的保護保護。 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 自己保護的保護者 一口保護保護者 自己保護的保護者 一口保護保護 一口保護保護 一口保護保護 一口保護保護 一口保護 一口保護 一口保護 一口保護 一口保護 一口保護 一口保護 一口保護 一口保護 一口保護 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日	自動、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、	自動、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、	自動、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、國家、	自己的主要。 一個人的主要。 一一人的主要。 一一人的主要。 一一人的主要。 一一人的一一人。 一一	自己的主要。 一個人的一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	自動。 一個人的一個人。 一個人的一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	自由了國際保護部制度。 一個人的主要。 一一人的主要。 一一人的主要。 一一人的主要。 一一人的主要。 一一人的主要。	自由、國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 國際保護部制制。 一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	自動、國家保護、國家保護、國家保護、國家保護、國家保護、國家保護、國家保護、國家保護				2 國南島小原國際保護。 2 國南島小原國際保護 5 國南島北家政政部黨 5 國南島北家政政部黨 5 國南島北家政政部黨 1 國高島北家政政部黨 1 國高人主要 1 國高島北家政政部黨 1 國高島北家政政部黨 1 國高人主要 1 國高人主要 1 國高島北東政政部黨 1 國高島北東政政部黨 1 國高人主要 1 國高人主要 1 國高品市家政政部黨 1 國高品市家政政部黨 1 國高市政政政政權 1 國高市政政政政權 1 國高市政政政政權 1 國高市政政政政權 1 國高市政政政政權 1 國高市政政政政議 1 國高市政政政政議 1 國高市政政政政議 1 國高市政政政政議 1 國高市政政政政議 1 國高市政政政政政 1 國高市政政政政 1 國高市政政政政協 1 國家大主強國政策 1 國家大士加爾國政 1 國家大士加爾國政 1 國家大士加爾國政 1 國家大士和國政策 1 國家大士和國政策 1 國家大士和國政 1 國家大士和國政策 1 國家大士和國政策 1 國家大士和國政策 1 國家大士和國政策 1 國家大士和國政策 1 國家大士和國政策 1 國家大士和 1 國家大士 1 國家 1 世界 1 世界 1 國家 1 世界 1 國家 1 世界 1 國家 1 世界 1 世界

222-231年;孫県(初) 222-280年;孫鳥 255-280年;孫鳥(牧) 280-280年,西晋(単) 280-311年;西晋 201-334年,西晋敬漢晉早 316-420年;漢晉 345-380年,東晋(中前) 345-231年,東晉(中) 402-420年,漢晉(吶) 421-439年,劉宋 421-582年,宋斉 421-583年;孫齡, 421-589年;孫齡

(255) 102

岡山大学大学院文化科学研究科紀要第18号(2004.11)

時期	種類	表式	墓壁	墓頂	訂茶	結床	统合	抹大道	萬壁面	装飾	規模(平均值)
野	斜坡羨道橫穴 1基	多室 2基	直壁 9基	弧頂 11基	木(石)門 無	确馆床 15基			墓壁に長方龕	銘文と幾何·	3.87 × 1.84 × 2.6 = 18.51
287年420年	階段羨道橫穴 1基	双室 3基	弧壁 23 基	穹窿頂 3基	擋土墙 二基	「同館で	建 统台 無	排水溝5基	を築く 13基	錦銭	
輩 CE	甬道橫穴碼至27基	単室 28 基		前穹後穹 3 基	甬道は1-2m	非同幅					
	横穴磚室 1基			壊 15基	t 最長25m						
	竪穴磚室 3基			残 1基	متور						
朝	階段羨道橫穴 3基				木(石)門 無	礦棺床7基	磚祭台1基		墓壁に長方龕	銘文と纏枝巻	3.77 × 1.39 × 4.12 = 21.59
421年-569年	甬道橫穴磚室 6 基	全て単室	直壁 7基	全て弧頂	橫土墙 無	(非同福)	磚棺床の	排水溝3基	と密築の長方	葉花草	
16 基	橫穴磚室 5基		弧壁 8 基		甬道は12m		前後処こ		龕(窓格)		
	竪穴土坑 3基				最長 22m		いず つ		長方龕 1基		
									龕と窓格 4 基		

*
1
牛
鑴
斓
氧
6
M
휛
*
3
ŝ
製
*
櫃
预
~

時期	種類	表式	離離	墓頂	副権	棺床	\$\$ 1	抹 水 淮	墓壁画	装飾	規模(平均值)
舞	階段羨道橫穴 2基			槨板平頂 2基	木(石)門無				墓壁に長方龕	銘文と幾何・	$3.10 \times 1.0 \times 0.76 = 2.36$
222年—420年	甬道橫穴碼室 16 基	双室 2基	全て直壁	無關頂 2基	拉士墙 #	磚棺架4基	磚祭台 1基	排水溝 2 基	を築く 1基	葉・網、縄文も	
# 05	横穴磷至 24基	単室 48 基		300頁 46 基	甬道は2m以下				三壁に磚壁墙	有る	
	緊穴確室 8基				最長 12m				山を築く 二基		
日	階段羨道橫穴 1 基				木(石)門 無				艦窓・柱 1基	素面磚が主、	3.40 × 1.33 × 0.99 = 4.48
505年—569年	甬道橫穴碑室 7 基	双室 1基	全て直壁	全て弧頂	<u>城</u> 土墙	磚棺架5基	磚祭台 4基	排水溝 3 基	窓格 2基	14 基のうち 10	
14 #	構穴確室 2基	単室			甬道は1m以下		単望に築く		半磚平台2基	基ある。	
Ī					2基				磚製半柱2基	銘文と幾何・	
										葉·蓮華·魚·	
										券筐+有る	

齞
L
柛
齈
轥
氰
е
x
륒
*
は こう こう こう こう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょ
1
惬
4
雁
- (#
西江
1.4
3

书区	種類	表式	唐 陸	萬頂	町和	棺床	统合	¥ ★ ¥	萬壁面	装飾	規模(平均值)
南昌及び周辺	甬道橫穴磚室 83	基 多室 5基	-	如頂 8基	木(石)門 無	後高			墓壁に長方龕	銘文と幾何·銅	3.54 × 2.05 × 2.29 = 16.62
222年-589年	Ξ	基 双室 8基	は「全て直壁」	前弧後弧 5基	謯 七編 第	(磚棺床)	磚祭台 1基	排水溝 1 基	を築く 二基	錢·網	
第 61		棄9 麦甫		前穹後穹 1基	甬道は 2m 以	8基			陳着台 1基		
					下、最長1.7m	(F			磚柱 11基		
南昌以外	甬道橫穴礦室 8 基	多室 8 基			전門 1 基	逾			回廊間に薬井	銘文と幾何・鍋	3.77 × 1.40 × 2.04 = 10.77
265年-569年	甬道橫穴磚石 2 基	双室 1	全て直壁	I E I E GULLE	植土植	(磚棺床)	石祭業 2 基	排水溝 無	を築くし基	銭·網·纏枝巻	
36 基	横穴磚室 25基	★ 16 基	, 14	前弯後弯 2基	甬道は1-3m	14基			破壊台 1基	葉花草·蓮華·	
					最長 28m				确柱 19基	記録	

101 (256)